

# 桜樹会会報

第36号



平成14年4月

日本大学桜樹会



工事の進む第1体育館と大講堂の解体作業。跡地には図書館が建設される。



野球場に建設された百周年記念館(正門より撮影)



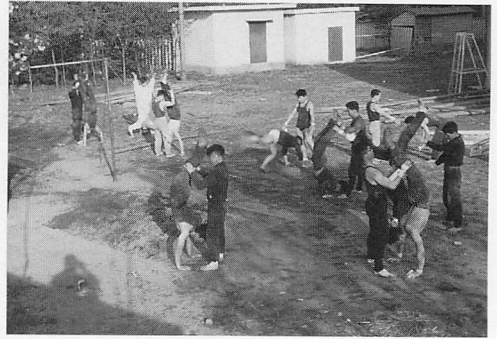
体操場から眺める百周年記念館。アメフト場と日大通りの桜は健在。



第2体育館と研究棟の間に見えた第1体育館の面影はなく…



体操場にもお目見えの「新型跳馬」。中国では「牛タン」と呼ばれている！？

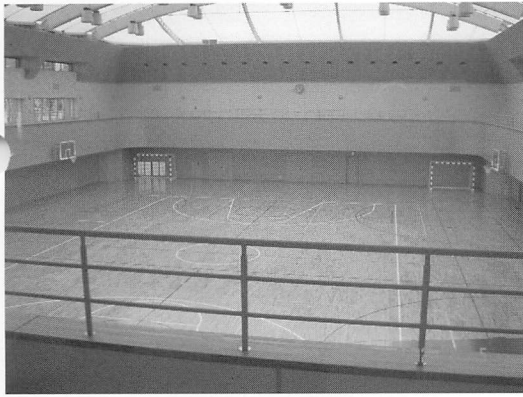


屋外での練習風景と今はなき第1体育館と大講堂を背景に撮影したなつかしの写真(門脇春男顧問提供)

(上左)昭和33年6月撮影

(上右)昭和33年春撮影・砂場でのトレーニング風景

(下)昭和34年6月撮影



右上2コマは平成13年度総会後の懇親会(日大文理カフェテリア「チェリー」にて)  
その他は平成14年春に完成した男子合宿所に隣接して作られた総合スポーツセンター

# 目 次

新しい技が生まれる瞬間の探索	顧問	濱田 靖一	1
体育館の思い出	顧問	門脇 春男	3
体育館の解体に思う	顧問	遠藤 幸雄	6
体操競技と共に歩んだ道	4回卒	木村 多喜	7
回想	6回卒	梅崎 捷也	7
拝啓 桜樹会の皆様へ	7回卒	二岡真美子	9
ペルー（PERU）での体操指導	10回卒	門脇 隆	9
思い出の一頁	12回卒	伊東 恭一	13
思い出、近況など	15回卒	佐藤 久恵	13
思い出	19回卒	巻島 久	14
学連として	24回卒	川久保祐司	14
異年齢が共同するクラブづくり ～小学生から高校生までの体操クラブの指導をとおして～	28回卒	殿垣 哲也	16
近況報告	35回卒	大塚 政子	18
近況報告	38回卒	町田 知己	19
近況報告	40回卒	斎藤 寛	20
平成 13 年度事業および行事報告			21
平成 13 年度競技会成績報告			22
平成 13 年度懇親会報告			30
平成 13 年度役員会報告			32
会費納入のお願いと住所シールの見方			36
平成 14 年度分の会費について			36
平成 13 年度会費納入状況報告			37
平成 13 年度収支決算報告			40
平成 13 年度総会報告			41
平成 14 年度役員一覧			43
平成 14 年度事業および行事計画			44
平成 14 年度予算案			45
平成 14 年度新入会員名簿			46
平成 14 年度体操部行事予定（日本体操協会行事を含む）			47
平成 14 年度体操部役員および部員			48
平成 14 年度体操部役員についての御報告	体操部監督	梶山 廣司	49
若き後輩たちへのメッセージ「勝ちまっせ日大わ」秘話	28回卒	殿垣 哲也	50
ワールドゲームズ 2001 秋田大会に参加して	9回卒	今村 悟	51

## 新しい技が生まれる瞬間の探索

顧問；濱田 靖一

体操競技には沢山の技がある。これ等の技は体操競技に携わった先輩方が苦勞して開発してくれたいわば、体操競技界の財産である。

これ等の技を練習によって修得し、自分のものにするのは後輩としての大事なことである。そして出来れば更に新しい技を開発して体操競技界の財産を豊かにすることである。

勿論新しい技がなくても競技会は成立するし、試合を楽しむ事も可能である。しかし体操競技会に於ける新しい技の誕生は陸上競技界の新記録の樹立と同じように燦然とかがやくし新鮮さと魅力がある。ただ陸上競技界の新記録と体操競技界の「新しい技」の誕生とは質的に違い同日に論ずることは出来ないが、それぞれの世界の起爆剤的な力と興味をもっていることはたしかである。

そこで茲では体操競技界に於ける「新しい技」の誕生と開発を素人的立場から眺めてみたいと思う。

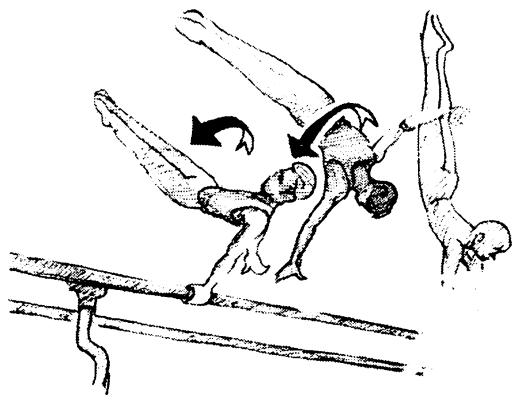
たとえば昔々器械を使って運動をはじめた極く原初的な時代、木の枝とか丸太とかを横に、物ほし竿のような原始鉄棒的な運動には、腕の力だけでよじのぼる、足をかけてあがる、など二、三種類の直線的な技しかなかったであろうと思う。その時代に半回転して棒の上にあがる逆上がりをはじめた人はえらいものである。おそらく仲間からは英雄視されたことであろう。やがて蹴上がりも誕生する。蹴上がりはいつ頃、誰が開発した技か知らないが、これは初期の技の巨峰であり、その人は発明界のエジソンの様な存在であると思う。蹴上がりは振動を使い、慣性率を小さくすることによって、角速度を大きくしてバーの上に体をみちびくという企画的な技術革新である。この蹴上がりが開発されてから、振動（フリ）を使う運動としての鉄棒が大幅に伸展し、弧と円（車輪）の目をみはるような華

麗な鉄棒運動の世界がひらきはじめたのである。鉄棒運動以外の器械、平行棒、リングなども鉄棒運動の技によって誘発されたものが多いのではないだろうか。

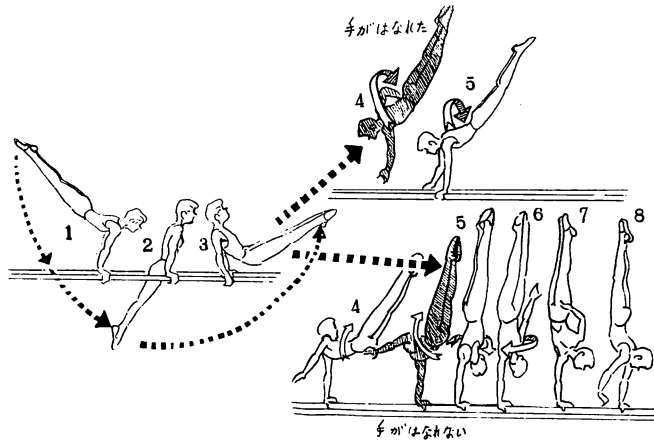
さて、この辺で体操競技の新しい技開発の手順について考えてみたいと思う。

先づ考えられることは

- ①一つのまとまった運動として同一運動の回数を増すことである。例えば一回で終わっていた宙返りを二回三回と増やすことである。鉄棒の車輪からの宙返りも二回宙から三回に移りつつある。ひねりも同じである。
- ②逆に行ってみる。例えば順手のシュタルダーを逆手で行う。逆の順序、逆の方向（平行棒の単棒の蹴上がり）に行ってみる。
- ③異なった器械の技を移行させる。例えば平行棒で車輪を行う。平行棒であん馬の旋回、あん馬で旋回倒立下り等
- ④技の複雑なコンビネーション。例えば跳馬の助走に側転バック（側転1/2 転向）を入れる。鉄棒のディスロから片腕車輪に移るその他まだいろいろとあると思うが、私は失敗技が新しい技を生む機会につながるがあると思うのでそれについて述べてみたい。所謂「失敗は成功の母」的な考え方である。







⑤失敗からのヒント。大分古い話になるが、東京オリンピック（1964＝昭和39年）の時のソ連の男子平行棒のウルトラCデアミドフ（前振り1回ひねり倒立）がそれである。この技は所謂「離れ技」ではないし、それほど大技ではないので現在の水準から見ればそう驚異的な技ではないが当時はかなり新鮮な感がしたものである。この技・発掘の経緯については本人のデアミドフも別に述べていない。私はその当時からこの技は前方半転向（フロントツイスト）の失敗がヒントになっていると睨んでいる。

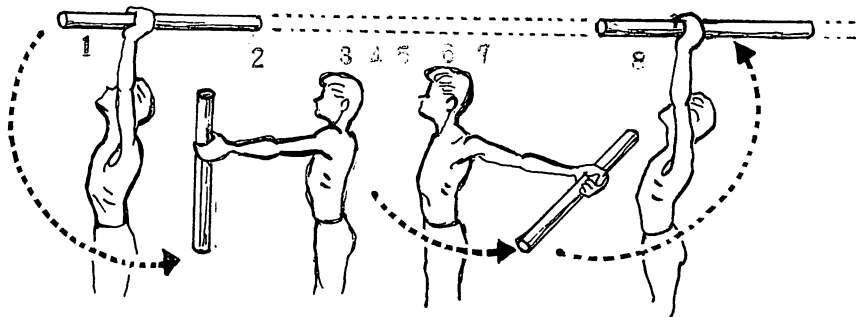
平行棒のツイストは古い技で、われわれの時には前方45度ぐらいでひねるのが美しいのではないかと言われた事がある。しかし45度ぐらいのツイストで失敗してもデアミドフは生まれてこない。やはりツイスト倒立のようにぎりぎりまで振りあげて支持腕がバーか

ら離れなかった時にデアミドフが生まれる可能性があるのである。

と言うことは、技の最大の限界を迫及したときの失敗が新しい技を生むヒントにつながるのではないかと考えるのである。中途半端な技の失敗は、単なる失敗で、新しい技を生む経路にはつながらないと思う。

⑥最後は主客転倒の考え方である。体操競技は固定された器械を使って体を動かしているわけであるが、逆に体を固定して器械を動かすと考えてみるのである。例えば扇を動かして顔をあおがらないで扇を固定し顔を左右に動かしてみるのである。⑤のデアミドフの場合には立位で片手にバー（短い）をもって腕を後方にまわすことになる。相対的には同じである。

乱暴な考え方だがヒントにはなると私は愚考する（おわり）。



# 体育館の思い出

顧問：門脇 春男

日本大学文理学部では、21世紀幕開けの平成13年11月1日に、創設100周年記念式典とその祝賀会が、厳粛なうちにも華やかに執り行われた。このときに正門前の野球場の跡地に建設した記念講堂兼体育館が披露され、ここ文理学部に四つ目の体育館が誕生した。

1. 四つの体育館（太字は、現在使用されている名称）

(1) **第一体育館**…（昭和48年11月末に総合体育館ができたので、2回目の名称変更、現在に至る）

→体育館（昭和27年7月～39年6月）

→旧体育館（昭和39年6月に新体育館ができたので、1回目の名称変更）

(2) **第二体育館**…（昭和48年11月末に総合体育館ができたので、名称を変更して現在に至る）

→新体育館（昭和39年6月～48年11月）

(3) **総合体育館**…（昭和48年11月末竣工、現在に至る）

(4) **100周年記念講堂兼体育館**…（平成13

年11月1日竣工、現在に至る）

年明けの1月末に、木村多喜先生から「記念講堂兼体育館が完成したが代わりに、第一体育館を取り壊すことになったので、なにか思い出とか記録として残すことがありましたら…」と、連絡があった。

そこで、いま手元にある資料と40数年前の記憶をたどりながら、思いつくままにまとめてみた。

2. いま取り壊されようとしている体育館（現第一体育館）の歴史

(1) 体育館の誕生

昭和24年4月わが国では2回目の学制頒布（学校制度の改正に関する規定、最初は明治5年8月）により、日本大学も新制大学、いわゆる4年生大学となり、そのとき新カリキュラムに保健体育科目がとり入れられた。

いまの文理学部は、昭和12年12月に日本大学予科文科世田谷校舎となり、新制大学発足にともない世田谷教養部となる。



昭和29年冬の頃、現在の第1体育館

昭和 33 年 1 月…哲・史・国文・中文・英文・社会・教育（教育・体育）・心理学科に理系の地理・数・物理学科を加えて文理学部となった（注；昭和 34 年…独文、36 年…応用地・応用物理、37 年…応用数・化の各学科と体育学科が昇格、現在の 17 学科となる）

世田谷教養部には、文・法・経済・商・理・医学部の 1～2 年生の教養課程の学生（3,000～3,500 名）がいたことと、保健体育が必修科目であり、さらには体育施設と教員数の関係で、1 年間で 2 単位履修させざるを得なかった。しかし、実技系は年間 30 週以上授業を行い 1 単位認定という計算であるため、全日大体育大会や部祭、クラス対抗の球技大会、神宮プールでの水泳大会、春の新生歓迎のバスハイク、大学対抗の各種競技大会の応援、特に、東都大学野球リーグ戦の応援などを時間数に加えた体育特別活動を実施して、1 年間に 2 単位を修得させる必要があった。

このような事情から、どうしても大きな室内体育施設が必要であった。そのとき、山形国体（昭和 27 年開催）のために用意されてい

た体育館の資材（飛行機の格納庫、アーチ型鉄骨トラス組み立て、約 360 坪）を購入でき、昭和 26 年夏に着工、27 年 7 月に竣工した。

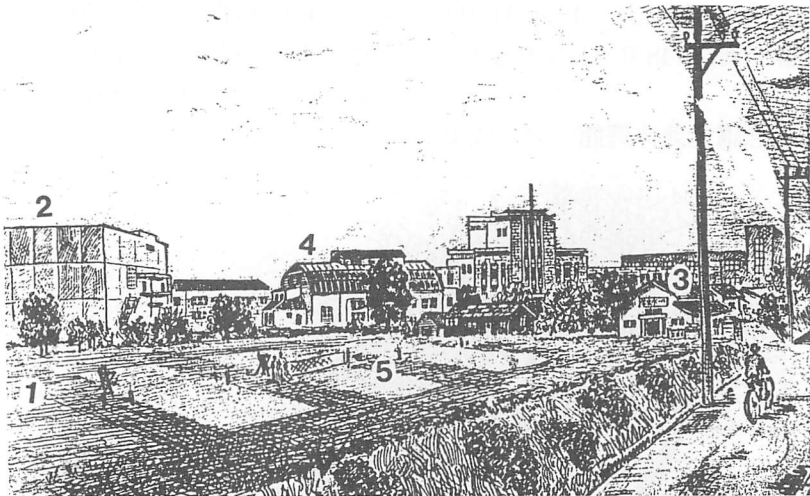
## （2）体育館の規模

正門から入ってすぐ左側、桜の樹木に囲まれたこの体育館は、外形はいわゆる「かまぼこ」型で、屋根に緑色の塗装がなされ、さらには換気と採光のためか、はたまた縁起をかついだのか、屋根の上に「うだつ＝税」があがっていた。

床面積 264 坪、公式のバスケットコート（28m×15m）1 面、コートサイドは 5m づつあり、床板は桜の木の二重張り、天井の高さ 12m、床面照度 500Lux、ロッカールームとシャワー室付き（15 坪）2 カ所、トイレは男女別で 2 カ所、管理事務室（15 坪）と準備室（9 坪）の 2 部屋…

まさに、大学では日本一の体育館であった。

完成時の夏期休暇の 7～8 月には、連日のように他大学・県・市などの関係者が見学にきた。このとき大学は、体操競技用国際規格品一式をセノー株式会社から購入してくれた。



世田谷教養部

- ①昭和 30 年の頃は、共同通信の電波塔があった
- ②大講堂のところに、馬術部の馬場があった
- ③木造平屋の学生ホールが現在の第 2 体育館（体操場）
- ④体育館
- ⑤総合体育館（テニスコートのところ）

### 3. 体操部の黎明期

この体育館ができてから、日本大学バスケットボール部は急激に強くなり、まったく他大学の追従を許さず、従って体育館での練習時間は、午後3～10時頃まで優先的にとり、さらに日曜・祭日は他大学や実業団チームとのゲームが組まれていた。

体操部とフェンシング部は、体育館の片隅で細々と練習をせざるを得なかった。そこで体操部は、昼休み時間とか、午後2～3時まで広いフロアで、鉄棒・段違い平行棒・床運動やつり輪など、それ以外は、中庭の立入禁止と書いてある芝生の上にマット・平均台・あん馬や平行棒などを出して練習をした。

昭和32年春には、体育会とすれば異例の早さで、体操部を公認してくれたお陰で、インターハイや国体で優勝経験のある、超大物新人の平川文雄（秋田・能代）と堀田淳二（東京・聖学院）、芳尾明（秋田・秋田工）、吉川晃（東京・麻布）、岩本忠喜・古市和也（東京・京橋）の体操競技経験者を新人として迎えることができた。あわせて、三島教養部にいた2年生の石井征也（栃木・栃木）を世田谷教養部へ移籍し、主将として迎えた。また、総務として高校時代柔道をやっていた稲橋恒行（東京・日大豊山）をスカウト、さらには合田恭子（香川・丸亀、日女体短大から教育学科へ編入）を女子部員として迎え、ここに体育会体操部の誕生をみたのである。

### 4. まとめ

もっと紙数があれば、新体育館の建設（昭和38～39年）の経緯とか砂場での練習風景などを記録として残したいが、次の機会に譲りたい。

ともあれ、みんな若かったし、一日一日が楽しく、創造的で、明日になにかがあるという希望と夢があった。

幸いにも、その後全国から優秀な選手が集まり、研鑽を重ね、和やかな伝統を築き、今日に至っている。

### 5. あとがき

当時の教養部部長は、国文学者の秋葉安太郎先生（のちに文理学部長・学長・常務理事）、事務長は原田嘉兵衛先生（のちに事務局長、アメリカンフットボール部長）、体育課長は文部省から移籍されてきた平野平三先生（陸上部先輩、日本陸上競技連盟常務理事）で、この先生方のお力添えがなければ体育館は勿論、こんにちの体操部も存在しないことになる。

また、新体育館の建設に際しても、秋葉安太郎・原田嘉兵衛・平野平三先生には大変なご無理を申し上げました。ここに、改めて心から感謝の意を表しますとともに、すでに鬼籍にある各先生方には、今後ともわたくしたち体操部の将来を見守っていて下さい。

後日談になるが、縁なもので体操部が公認されたのち、

初代体操部長…

秋葉安太郎先生（昭和32～37年）

二代体操部長…

平野平三先生（昭和38～44年）

となる。

蛇足；第一体育館が取り壊されると、残った体育館の名称は？

## 体育館の解体に思う

顧問；遠藤 幸雄

昭和 31 (1956) 年～38 (1963) 年の間に、学生かつ体操部員だった先輩諸氏には単に懐かしいばかりではなく、技術の向上と人間形成の場でもあった「あの体育館」が、新図書館建築の事情により、平成 14 (2002) 年 1 月から解体作業が始まり 2 月 6 日に完了した。

この機に体育館への思いを、解体音を耳にしながら振り返るのも無駄ではないと思いつくペンを取ることにした。

私が昭和 34 (1959) 年に体育助手として文理学部に奉職したとき、昭和 27 (1952) 年に竣工したという、屋根が円形の体育館だけだった。当然のこと、体操部の専用とはいかず、バスケットボール部とフェンシング部との共用で、トレーニングに伴う器械器具の出し入れ作業と終了後の掃除は、義務と礼儀を兼ね備えていたといつてよい。

体操部は炭酸マグネシウムを使用するので、ときには雑巾がけをしても白さの残るフロアーに、バスケットボール部の関係者は不足を持つこともあったにちがいない。

マットはロングとショートの種類で、ロングはロールして、ショートは折りたたんで管理していた。質的には現在の製品と異なり、湿気や炭酸マグネシウムを吸い込みやすいせいか重量感があった。

したがって、好天気の日には虫干しよろしく、マットを外に出したりもしていた。

安全対策としての分厚い「ソフトマット」は、昭和 39 (1964) 年のオリンピック東京大会強化策、すなわち「ウルトラC」への挑戦過程で開発されたが、体育館内で使用した記憶はない。

私は大学（東京教育大学・現筑波大）在学中から日本大学の体操部と体育館に関わりを持っていて、それは体操部の初代監督（昭和 31～44 年）・門脇先生が、高校（県立秋田工業）の先輩という縁によるものである。

昭和 32 (1957) 年、私が 3 年のときに、ご存知のとおり観客席の無い体育館で大学選手権大会（規定演技のみ）が開催されている。

当時、学連委員長を務めていた 1 年先輩の方に開催の確認をしたところ、「自由演技は東京体育館だったぞ」との返答、記憶に間違いはなかった。

昭和 33 (1958) 年には、東京教育大学の体育館が場所を移動するために、トレーニングができなくなり、その間、男女とも大変お世話になっている。女子部の総務だった家内は、使用への感謝とバスケットボール部の厳しいトレーニング状況を現在も忘れていない。

体育館は呼称でも歴史を刻んできた。昭和 38 (1963) 年までは、日大文理の“体育館”、昭和 39 (1964) 年に、専用の体操場を有する 3 階建ての新体育館が竣工すると“旧体育館”に、そして昭和 53 (1978) 年に、温水プール (25m) を備えた総合体育館が竣工すると“第 1 体育館”（新体育館は第 2 体育館となる）にと呼称を変え、各体育館の外壁に表示されるようになった。

さいごに、昭和 27 年に竣工してから 50 年、その間、授業と部活をとおして学生の育成に多大な貢献と、個人的に自立を促してくれた体育館も、2 度と目に映ることはないが、終生、胸中にあることを約束し、やはり「サヨナラ」で結びたい。

## 体操競技と共に歩んだ道

### 4回卒；木村 多喜

思い起こせば、昭和34年4月、体操基盤の全くない酒田から日大に入学し、この年の1年間は無我夢中で過ごしました。2年目には全く練習できず（1年目の終わり頃、脊髄を痛め入院の繰り返し）、休部状態が続き、3年目にやっと練習開始。4年目に運よく滑り込みでプラハ（チェコ）世界選手権大会に参加することが出来ました。その当時の海外遠征は試合終了後、各国で演技会をしながら視野を広め、経験を積ませ、度胸をつける最高の舞台であったように思います。私の体操競技のスタートラインはこのプラハ大会からといって過言ではありません。

初の海外遠征は約1ヶ月半のロードでした。昭和37年6月下旬、羽田を出発し、ヨーロッパ各国、アメリカ、カナダ等を廻り8月14日帰国。時差ぼけのまま、その足で8月15日から始まる大学最後のインカレに出場のため札幌へ。忘れもしませんが、遠征疲れと時差ぼけのまま練習に入ったため、平均台から落下。その際、足首を捻挫。不安は募るばかり。チームに迷惑をかけないよう、失敗は許されないため、演技構成を変えて試合に臨みました。結果はチーム第2位、そして個人総合優勝というおまけまでついてきました。特に早田先生とアベック優勝ということで監督はじめ、関係者は大変喜んでくれたようです。

卒業後は、門脇先生のご配慮で文理学部体育学科の助手として残り、後輩の面倒を見ながら選手生活を続けることになりました。お蔭様で東京オリンピック大会参加、NHK杯3連勝、ハンガリー・ブダペストのユニバーシアード大会（女子初参加のため個人で2名参加）個人総合5位、全日本選手権大会優勝（銚子）、ドルトムント世界選手権大会種目別段違い平行棒6位、メキシコオリンピック大会参加など、数々の大会や遠征に恵まれたことは、門脇元監督をはじめ、和子先生、遠藤

先生、ライバルであった同期の早田先生のお導きと、OB・OGの皆様、並びに体操部員の多大な協力があったからこそ深く感謝いたしております。

平成14年度から完全に体操部コーチから身を引き、後任の長澤郁子先生（31回卒）にバトンタッチすることになりました。6年間コーチ補佐として一手に引き受けて体操部をご指導いただいておりますので安心して引き継ぐことが出来ます。既に一昨年より正式コーチとして活躍しております西川大輔先生（34回卒）と新コンビで、スタートしておりますが、一廻りも二廻りも大きく成長して活躍してくれるものと期待しております。陰ながら新鮮な日大体操部のご発展を心よりお祈り申し上げますと共に、桜樹会会員の皆様におかれましても、私と同様変わりなきご支援、ご指導の程お願い申し上げます。

退任に当たり、39年間お世話になりました桜樹会会員の皆様にご心より厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 回想

### 6回卒；梅崎 捷也

昭和17年午年生まれ今年還暦、筆を執る機会が出来、一瞬にして学生時代に戻れる事をうれしく思いますが、勘違いの多いこの頃最後まで書けるかどうか、その時は勘違いという事ですまそうと思っています。

卒業して38年、深川木場での丁稚奉公、九州の山中での林業生活、29歳木材店主として独立、体育学科教育とはまるで結びつかない異業種世界の中で自分の目的に向かって進めたのは、体操部で諸先輩方から受けた、部員としてのマナー・ルールという「躰」だったと感じています。その躰こそ今の社会になくなりつつある、約束事に対しての考え方、人に対する思いやり以外なものでもないように思えます。「挨拶に始まり、挨拶に終わる。」

これこそ全ての基本でした。大学に入学し何日か過ぎた頃、坊主頭にしろという言葉。高校卒業後入学式までやっと伸びてきた髪と多くの夢を抱き、上京した九州男子がその命令に従えば、その後部生活の中で何でも服従になりそうに抵抗したこと、それが大学部活動の第一歩でした。このごろは物忘れも多くなっているが不思議とこの時代のことは先輩の方々の顔まで浮かんでくる、よほど苦しかったか、楽しかったかの思い出なのでしょう。選手活動は肩の骨を折ったことで自分自身では断念。上野先輩、小松先輩の務められた、文理学部体育団体連合会の委員長を務め、後の学生運動の姿を少し垣間見た時代に卒業しました。私はその後教職の道を進まず、先に述べたように自分で独立し経営者になるべく九州に帰ってきました。

それから10年程経ってからでしょうか。周りに桜樹会の人々の顔が見え出しました。福岡だけで10人もいたのです。商売を始めたのは、オイルショックで社会が落ち着かない時代でした。その中で仲間が近くに住んでいたのだということが、恥ずかしい姿を皆の前に出せないからという意気込みにかえられ、自分が一人ではないのだと心強く感じたことは他にありませんでした。そしてそんな仲間を求めている人がいるかもしれない、そう思ったのです。福岡地区10人のうち、教育畑に進んでいた者は一名、他の者は自営業、市役所、一流企業と様々でした。

私が第5期磯部氏と桜樹会の話し合いをしたのはそれから間もない頃でした。熱く学生時代の話から始め、先輩もその時は東京での教師生活を離れ実家の仕事を継がれたばかり、私の気持ち同様、仲間の存在を心強く感じている時期だったようです。九州桜樹会を作ろう、今のままでは九州まで本部の心が伝わってこないとのことでした。菊地先輩、早田先輩とお会いする機会があり、相談したのもその頃でした。二人からの、よろしく頼むとい

う言葉を私は心強く感じました。不思議と福岡の会員は電話一本で集合できる間柄に当所から来ていました。何月何日何処何処に集合といえば、病気で寝込んでいない限り集まり、会員は会のためだと動きますし、働くのです。楽しいですよ、皆で酒を飲むこと、学生時代のほら吹くのは。第一回九州桜樹会は北九州にて社会人大会終了前日の懇親会の席で一時間前から、支部総会報告も本部の役員の方も同席願っていたので、九州桜樹会を理解してもらうまで二年の月日がかかるとは思いませんでした。別に九州に桜樹会という別団体を作るのではなく、支部。会則も当本部の指示通りということだったのですが、支部会員を九州全土に広げていたことと、会費の使い道で議論を進める本部との話は進みませんでした。そのことが九州地域と考えの相違となっていたようです。中央から支部に連絡するのは、文章にして糊付けしたのですが、地区内であればその当時10円の電話で済むことでした。

最後になりますが、本部へのお願いですが競技会場で、道端で桜樹会会員同士がすぐわかるよう、胸に輝くバッジで会員同士の確認が出来るようにして欲しいということです。それが強い結びつきをよりよくしてくれると思います。学生一年生（会員予備群）と桜樹会第一期生は半世紀の年の差があるのですよ、検討ください。思い出話からお願いまでしました。桜樹会の益々の繁栄を応援します。午年の年男。

（蛇足）本部が各ブロック長に対して希望・注文・指示を出すこと、各ブロック長が各会員に対してコンタクトを入れること、その結果報告を本部に提出することで、縦の筋が通るのではないかと思います。

## 拝啓 桜樹会の皆さまへ

7回卒；二岡真美子

お元気ですか、年月の流れの早さを日々感じる今日この頃です。卒業して郷里に帰り、三十七回目の春をむかえようとしております。鳥取県は、砂丘と二十世紀梨、そして私の住んでいる米子<sup>よなご</sup>は東に大山<sup>だいせん</sup>（別名；伯耆富士とも言います）北に日本海を望み、皆生温泉もあり、自然に恵まれ山の幸、海の幸の美味を満喫でき心とらぐ地であります。

今年の七月二十八日～八月一日のインカレは、この地米子での開催が決定し、地元関係者は万全の準備に取り組んでおります。桜樹会の皆様が来県されることことを心からお待ちし、日大体操部の活躍を期待しております。

さて私、二岡（旧；下手）は大病もせず日々元気で、県体協の選手育成という仕事に携ってききましたが、今は「孫ばか」となり三人の孫達のおばあちゃんを楽しんでおりますが、二年後に定年退職をむかえ、教職に就き三十六年、自分は何を残せたのかと…少々、淋しさも感じております。

我、人生の青春期を体操競技に夢を馳せ、日大での四年間の生活が私の人生路の基盤となっているように思えます。選手生活をはなれ、郷里で指導者として三十六年間、主人とともに歩むことができたことを幸せに感じ誇りに思っています。

これからは、どう老いていこうかと考える毎日となりそうですが、明るく、楽しく、子供、孫達に囲まれ、地域の人とのかかわりを大切にし、元気で余生を送ることができたらと思ひます。

会員の皆様方のご健康を、心より願っております。

かしこ

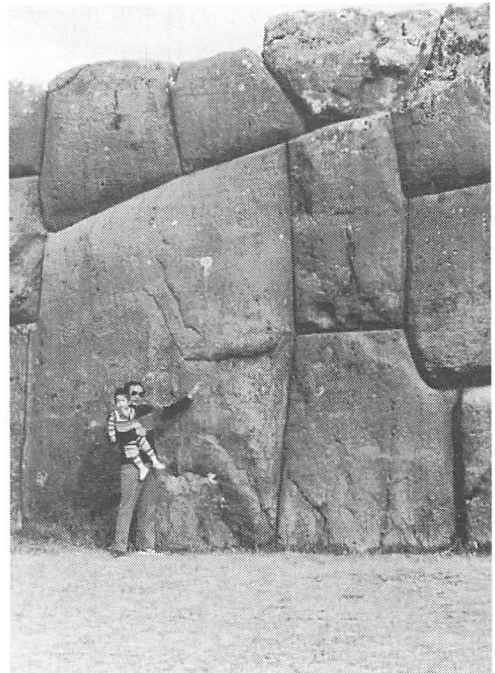
## ペルー（PERÚ）での体操指導

10回卒；門脇 隆

昭和32年(1957年)体操部創部以来44年間、インカレ・国体・全日本・オリンピックなどの大会において活躍し、常に日本の上位に位置し、「体操日本」を支えてきたことを体操部OBとして大変誇りに思うものであります。大学卒業後34年間。ペルー生まれの息子年宏(41回卒)もその体操部に入部し、親子二代でお世話になりました。そこでこのたびは記憶に残る海外での思い出を書き留める事としました。

・はじめに

昭和50年から55年まで、千載一隅のチャンスを得て、外務省国際交流基金(Coperaclon Tecnica de The Japan Foundation)から派遣され、ペルー共和国の体育庁(INRED)に勤務し、主に体操ナショナルチームの監督、国立体育大学の講師、オリンピック強化委員として仕事をしてまいりました。着任時はキューバのコーチが男子体操チームを指導していたので、自然と私は女子チームの指導に当たる



インカ帝国の城塞サクサワマンにて



ことになりました。当初、私が演技をして見せスペイン語で説明しても、なかなか理解してもらえず、腹立たしさに「このバガケー」などと秋田弁も出てしまいましたが、コマネチブームもあって、選手の意欲も次第に高まり、翌年から南米大会（Competencia de SudAmericano）で四年間優勝することが出来たのも、日大桜樹会のネバリで頑張ることができたからだと自負しております。

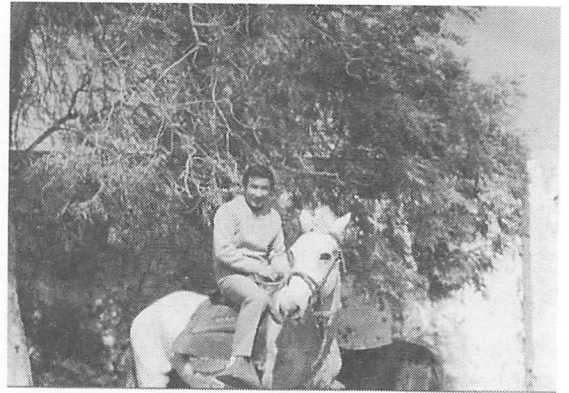
1976年の南米大会はブラジルのポルトアレグレ（Port Alegre）で開催されましたが、会場の体育館に日本体操チームの優勝したときの写真が飾ってあってその中に早田先生が写っていました。異国の地で見る写真は懐かしさと嬉しさを感じました。又、体育館の管理人さんが日本の五円玉をSR（セニョール）HaYaTaより記念にもらった大切なお守りだと言って見せてくれた思い出深いエピソードもありました。（南米では穴が開いている硬貨は大変珍しい）なお、この大会には大原健司君（11回卒）がブラジル男子チーム監督として参加していて、この南米でお互いの体操事情や美味しいレストランの食事と共にブラジル美人と語り合う機会もありました。

#### ・階層社会

さて、この国で指導に当たる場合、ペルーでは階層社会であることをわきまえておかなければならないと思います。

第一階級は、スペイン征服以来四世紀にわたってこの国を支配しつづけてきた数十家系の人々で、無論白人です。ある時、コーチしている子供の家に招待されて、開いた口が塞がらぬほどびっくりしました。屋敷内に飛行場があってセスナ機が二機、プールも二つ、だだっ広い農場などがあり、聞くとところによると、工場・農場・会社・銀行等々かなりの分野の仕事を手広くやっていて何千億ドルもの資産を持っているとのことでありました。

第二階級は、スペイン以外の欧米諸国からの移住民や若干の混血者などで、ユダヤ系、



資産家アルフレッド・フランコ・クレンメル家にて

日系人もおむねこのクラスになります。

第三階級は、都市の中堅階級、熟練労働者、中小企業主たちで、人種的にはいろいろな混血が入ります。

第四階級は、都市の下級労働者に属する人たちで、表情に乏しく労働意欲もあまり見ることができません。

#### ・仕事の内容

次に体育庁の体操専門家として、私の成し遂げた仕事を紹介します。

① 体育教員の育成… 国立体育大学（CESIRED）にて週三日（月・水・金）8：30～12：30まで、学生達に実技や理論を指導する。

② 体操コーチの育成… 毎年主な地方都市（クスコ・アレキパー・トルヒーヨ・ナスカ等々）から体育教師や体操コーチを首都リマ（LIMA）に呼び、1月から3月まで講習会を開いて指導する。（ペルーは日本の裏側に位置し、この期間は夏休みです）

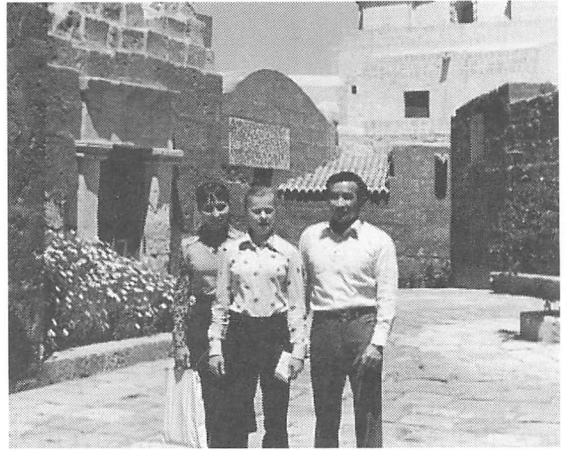
③ 体操協会に対する技術上の助言及び指導…これが私の主な仕事で、午後4時から10時まで、A・B・Cグループに分け国際試合のための強化練習を指導する。

④ 審判資料や技術動向の作成… 毎年の講習会で世界の技術動向を伝達し、1ヵ月1回のコーチ会議で技術の方向性を文書にして、男女別指導者に資料を提供し説明する。

1977年に南米地区国際審判講習会がブラジルのリオデジャネイロ (Rio de Janeiro) であり当時、男子第一技術委員長だった、アルトゥール・ガンダー (Arthur Gande) 氏より講習を受けました。ガンダー技術委員長はスイス語、英語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語の6ヶ国語が堪能で、更に日本語も片言だが話せていて、金子明友先生、遠藤幸雄先生との体操の話題や、盛んに日本語で Risozo (理想像) について、加藤澤男選手の技術の素晴らしさを称賛していて、忌憚のない話し合う機会がありました。このお蔭で合格できたように思います。

⑤体操の国家的普及…体育庁に勤務して最も成果をあげた内容で、当初約130名の体操人口が、帰国する際には約25,000名に増加しました。

1979年3月に前々から日本の外務省を通じてお願いしていた、日本体操選手団派遣が2年間かけて実現する事になりました。折しも日本人ペルー移住80周年記念行事としてフランシスコ・モラーレス大統領を招待し多くの式典や催し物が日系人を中心に開催されていて、その計画の一環として国際交流基金から体操親善使節団として来秘していただきました。メンバーは森直幹団長、中山彰規コーチ、境保則主将 (19回卒)、平田倫敏選手 (21回卒)、辻義照選手 (中京大)、川上新一選手 (中京大) と、ここでも2名の体操部OB



### モンテリオール五輪

平均台金メダリスト・グロズドバ選手と

が活躍してくれました。1ヵ月前にソ連体操選手団 (ロシュキン選手、グロズドバ選手他5名) の演技会があったが「さすが日本選手の演技には手抜きがなく最高の演技を見せてくれた」と新聞、TV、協会の人たちより言われ私自身も満足行くものであった。

その時の日程として、3月11日ホセ・グアブロチェ・ペルー文部大臣を日本国代表として表敬訪問、午後ペルーナショナルチームと合同練習、18:00より自宅にて懇親会を行う。3月12、13日サン・アグスティン大学体育館 (当時、フジモリ前大統領が教授として勤務していた) にて演技会を2日間行う、観客数が6,600名。

3月14日休養及びトルヒーヨ市に移動、3月15日コリセオ・グラン・チムー体育館 (円形大体育館) にて3回目の演技会を行う。観客数6,000名であった。この夜、境君、平田君共に最高の演技に魅了され Que! Malabia (何と素晴らしい!) と歓声の聲が上がりました。

3月16日リマに移動後、日本食レストラン「ミカサ」にて最後の懇親会を開催、3月17日15時15分発AR380便にて帰国、7日間、新聞・TVに報道され日秘親善関係に多大の成



園田外務大臣と共に



新聞に掲載された写真

果を上げる事が出来ました。その後、体操人口が急激に増加し、指導者、体育館、器具の不足が生じて大きな問題となりました。

・施設や用具等

当初、体育庁や体操協会 (Federacion de Gimnasia) にはまったくといって良いほど体操器具がなく、あっても旧式な鉄棒・バネのない平行棒やロイター板などで、指導には非常に困難を感じました。しかし、私がコーチをしていた体育館はトゥパカマロという名称で、市街地から 20 分ほど離れた公園の中にあり、器械も旧式 (アメリカ製・ドイツ製・日本製) ながら一応整っていましたが、びっくりしたのは体育館そのもので、地震でも起こればすぐにでもつぶれそうな建物で、恐怖を感じながら指導に汗を流しました。

1978 年にはピットやタンブリングバーンもでき、ナショナルチーム専用の体育館になりましたが、貧しいペルーでさえあるのに、日本でナショナルチームの専用体育館の無いのは不思議なことです。(注: 国立スポーツ科学センター [Japan Institute of sports Sciences] として東京都北区西が丘に平成 13 年 10 月 1 日にオープンした。)

そして 1979 年には外務省から器具一式の無償貸与があり国際試合もできるようになりました。タンブリングバーンは私が 2 ヶ月かけて木材で作ったもので名前が刻み込んであり、長さ 18m、幅 1.5m、高さ 30cm で、日

本のスノコ板を二段に重ねたようにし、宙返りをする部分には自動車のクッション用バネを取り付け、蹴りを良くするように作った思い出の多いものです。地方都市を巡回してみると、マットが 3~5 枚程度あるだけで、ひどい場所になると日本の遊園地で見られるような鉄棒や、鉄棒を 2 本並べた平行棒があったりで、理解に苦しむような競技体操への考え方でありました。

こんなエピソードもありました。1976 年 11 月頃ある地方で立派な体操施設があるので、profe (先生) Kadowaki のエキシビションをぜひと頼まれ、車で 5 時間もかけて着いたところ、案内された広場の遊園地では約 3,000 名の見物人が集まっており (TV や新聞でおおいに宣伝をしたらしい)、その中での高鉄棒、鉄の平行棒、木の跳馬、草の上での床運動をしたこともありました。

・おわりに

ペルーの体操普及に於いては山本好隆君 (11 回卒) が先駆者で大変苦勞して選手を育てていたと、日系人の人達や、体育庁 (INRED) の職員より聞きました。その下地があったので導入しやすく、試合に向けての練習強化に専念する事が出来ました。また、国際交流基金から派遣されたため、日本国代表の体操専門家としての処遇を受け、体操に関する殆どすべてをまかされ (試合の日程、大会費用の折衝、指導方法その他)、新聞に取り上げられたり TV (週 1 回ナショナルチームとともに出演して演技指導の解説) に出演したりで、評価の高い位置にいたることができました。

生活面では、インカ帝国が栄えた時代、世界に先駆けてジャガイモ、トマト、トウモロコシ等々が栽培され、原産地として量も豊富で、漁業国でもあることからたくさんの新鮮な魚介類もあり、また日系商店があるため、味噌、醤油、豆腐、もち米等々が自給されているし、悪性の風土病もなく、気候の変化も過酷ではないので、発展途上国としては暮ら

しやすい国でした。私にとってまさに青春のひとつときの出来事でした。

## 思い出の一頁

12 回卒 ; 伊東 恭一

山は鳥海、海は日本海、河は子吉川、恵まれた水辺の街本庄に帰ってきて 20 年。

学生時代は、確かにあれていた。授業もなかった、不勉強の時をどう過ごしていたか、記憶にない。時折逆立するとめまいがして大変。

会社に 4 年程居たがやめざるを得なかった。マナーに反していたので、その事が原因でした。

それでも恩師は生活などを指導してくれた。—ありがとうございます—。そう思っても、いつもはげましてくれた先生に対してお礼も言わず申し訳ないと思っています。

いまは小さな作業を習っています。雑役をやりながら汗を流しています。

街角で、お世話になった方々の健康と幸福を祈り、筆を置きます。

## 思い出、近況など

15 回卒 ; 佐藤 久恵

私が大学に入学したのは、今から 32 年前の昭和 45 年春でした。高校卒業後、3 月末頃より練習に参加させていただき、淡路島での合宿にも同行させていただきました。海がとても綺麗だったのは覚えているのですが、合宿の内容はどうだったのかなあ？

入学後暫くは、学園紛争の名残りだったのか、学生証を提示して文理学部の門を通ったものです。この頃よりミニスカートが流行し始め、膝小僧が見えただけも「スカートが短い」と先輩に注意を受けました。しかし、その後、益々短くなっていきました。

私の先輩には、練習熱心でとても真面目だ

った五十嵐先輩がおりまして、鉄棒での 3 回ひねりのスペシャリスト。更にオリンピックにも出場され、母校の誇りです。当時の私と言えば、ゆかのスワン宙で 1 回ひねるのが精一杯というレベルでした。それでも新人戦のゆかで 3 位入賞を果たしました。先生方と先輩方のご指導のおかげだったと感謝しております。

翌年 2 月、左足アキレス腱断裂のため、日大板橋病院に入院することになってしまいました。他にも色々と、先生方にはご心配やご迷惑をおかけしてしまいました。

大学 3 年の秋に、作新学院で教育実習を行いました。当時の野球部には「江川卓」君が、高校 3 年在学中で注目を浴びていました。江川君のサイン色紙を木村先生に差し上げようとグラウンドまで押しかけていったのも、良い思い出です。

昭和 49 年無事卒業。作新学院で 2 年間体操部の顧問として指導しましたが、51 年に退職、5 月に結婚してからは、体操とは縁遠くなってしまいました。

現在は、自動車関係の仕事をしております主人の手伝いをして頑張っております。また、15 年程前からはじめました趣味の茶道も奥が深く、これからも地道に続けていきたいと思っております。

今回の原稿を書くことで、諸先輩方、かわいいうい後輩の皆さん、同期の友はもちろんのこと、色々思い出す機会となりました。私にとって 4 年間の大学生活で、全国各地より集まって来られた先輩、同期、後輩の皆様に出会えたことが、何物にも替えがたい宝だと思いました。遠藤先生、早田先生、木村先生のご健康を心よりお祈り申し上げます。また、桜樹会と日大体操部のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

## 思い出

19回卒；巻島 久

時の経つのは早いもので、大学を卒業していつの間にか24年も経ってしまった。今改めて大学時代の体操部での生活をふりかえると、不思議なくらいいろいろなことが鮮明に思い出される。

私は、高校まで本格的に体操の指導を受けたことはなく、ただ体操が好きで日大体操部に入部させていただいた。

当時は、体操部員は合宿所生と一般生合わせて100人を越える大所帯であった。いざ入ってみると、すごい選手ばかりで圧倒された。入部当初の一番の思い出は、新入生の昼休みの補強である。私は、倒立歩行が2、3mしかできず、学生コーチの方や友人に補助してもらいながら床フロア一周をやっとのことで行っていた。自分としては恥ずかしかったが、やめたいという気持ちにはならなかった。それは体操部全体の雰囲気、一生懸命練習に取り組んでいけば体操が強い弱いに関係なく、みな同じように接するという、一種家族的な温かさがあったおかげだと思う。

大学4年間の中での一番の思い出は、学生コーチをさせていただいたことである。それまでは、少しでもうまくなりたいという気持ちで、自分だけのことしか考えず生活していた。しかし学生コーチになってからは、選手やチームのこと、合宿所での生活面でも自分を律しなくてはいけないことなど、180度自分を変えなければならなかった。なんでこんな思いをしなければならぬのかと、落ち込んだこともあったが、先輩方のアドバイスや、何よりも選手の一生懸命練習する姿勢に助けられ、なんとか最後のインカレまで自分なりにやり遂げることができた。幸い、選手の頑張りにより小差ではあったが、優勝することができ、感激を選手と同じように味わえたことは、私にとっては一生忘れることのできない宝物となった。同時に、当時の監督をされ

ていた遠藤先生をはじめ、早田先生や梶山先生が、選手にはもちろんのこと、マネージャーや私のような者にまでねぎらいの言葉を掛けてくださり、忘れることのできない思い出となった。

一人一人が一生懸命目標に向かって努力することは大切なことであるが、それを支えているのはまわりの多くの人々の力のおかげであることを学んだ気がする。

今私は、地元で教員生活を続けているが、年をとったせい、自分だけが苦勞しているとか、頑張っているとか思いがちになる。そんなことを思う時、日大体操部時代を思い出し、自分を支えてくれている多くの人たちに感謝しながら、また一から頑張ろうと思う。

## 学連として

24回卒；川久保祐司

早いもので卒業して社会人となり今年で20年目を迎えます。そんな節目の年に桜樹会会報の原稿依頼をいただき、うれしく掲載させていただくことになりました。しかしながら私の思い出は選手生活とはちょっと違うのです。

私は昭和54年に入学し体操部に入部。その年の9月から体操学連の活動をするようになりました。なぜ学連になったのか。今ではよく思い出せませんが、たしかに同期の人達にくらべて競技力が劣っていた事も理由のひとつだったかもしれません。でも自分はどちらかと言うと縁の下の力持ち的な存在が以合っているような気がして学連になったのかもしれないと今は思えます。

私にとっての学連は決して楽しいものではありませんでした。多分それは練習がきついつとか、つらいといったような気持ちを選手が持つのと同じように学連の仕事もつらく、いつもプレッシャーとの戦いだったように憶えております。毎日大学の講義が終了するとす

ぐに渋谷区の岸記念体育館内にある日本体操協会事務所に行き、他の大学の同じ学連仲間と打ち合わせを行うのです。

学連の活動には休みはありませんでした。毎年4月から11月位まではシーズンということで、学連主催の大会運営を期間中に8回、体操協会主催の大会などのお手伝い等あわただしく活動し、オフシーズンになると次年度の事業計画、予算立案等の事務的な作業に追われます。その活動はまるで毎年役員や社長が交代する小さな販売促進会社にも似ておりました。初めての仕事は10月に行われる新体操演技発表会のプログラムへの広告掲載依頼。18歳の何も知らない学生がいきなり大企業に赴き、プログラム広告掲載の依頼と原稿と広告料を収集してくる。なんでこんなことをしなければならぬのかと不思議に思いました。

体操部の練習にはほとんどといってよいくらい参加しませんでした。練習に参加しないことで、他の同僚に学連の仕事が大変なのだという理解をほしかつた意地になっていたのかもしれませんが、ただ、同じ学連の先輩である柴沼さんや櫛野さんからはよく怒られました。たまには練習に参加しろと。しかしながらそれ以上に怒られなかったのはたぶん両先輩とも学連の厳しさを知っていたからだだと思います。事実、先輩方の一言で助けてもらったり、気持ちが落ち着いたことが何回もありました。今でも大変感謝しております。

大学3年生の秋に新体操の演技発表会がありました。関東圏内の大学で新体操やダンスを行っているサークルの年に1回の学生だけの発表会で、かなり歴史のある大会でした。関東圏限定でしたが、遠くは新潟や福島などからも毎年楽しみに参加してくる大学も多くあり、参加人数は500名を超えておりました。実はこの大会の会場が確保できなかったのです。スポーツの秋ということで、人気のある

体育館は半年前にすでにうまっておりました。自分達かというと、東日本インカレ、全日本インカレと大きな大会が終了してから演技発表会の準備に取りかかってしまった為、すでにどの体育館も満杯でした。皆で八方手を尽くしましたが、大会の3週間前になっても決まりません。実はその時、私の判断でその年の演技発表会は中止しようと考えておりました。ところが自分達の困っていることが何処から耳に入ったのか、当時の日本体育大学の総長が大学の大講堂を無償で提供して下さいました。日体大の学生はほんの少ししか参加しない発表会なのに。その時のホッとした気持ちと、総長の暖かい心遣いは多分一生忘れる事のない思い出となっております。現に今でも本当に夢を見ます。大会会場が確保できなくて、ものすごいプレッシャーで悩んでいる自分の姿を。

そんな学連生活の中でやはり一番の思い出は、昭和57年の私が大会委員長を務めた静岡で開催した全日本インカレでしょう。東京と静岡を何回も往復し、県の教育委員会、体育協会や体操協会との打ち合わせ。地元の観光協会や旅館組合、万が一の時の為に消防署や救急病院との打ち合わせ等行い、一週間の長い日程も一度のトラブルもなく、一人のけが人もなく無事に閉会式を終了し、かたづけも終わり、同僚や地元の方々と握手している時に、知らずに溢れ出した涙をとめる事はできませんでした。ひとつのことをやり遂げた感動にはじめて自分自身をほめてあげることができました。

先日仕事の関係で静岡市に行く事があり、大会会場であった草薙体育館を訪れる機会を得ました。体育館はそのまま残っておりましたが、周りには高層のマンションが立ち並び、改めて時の流れを感じました。当時大変お世話になった元静岡県体操協会会長のなつか先生（静岡市立高校）はすでにお亡くなりになり、同じくお世話になった寺田先生（浜松商

業高校)も定年を迎えられたとのことでした。

私の学生時代は、体操学連と共にあったといっても過言ではありません。学生時代の思い出はイコール学連活動だったのです。他の学生が経験できなかった事を人より早く経験することができましたし、ひとつのことをやり遂げた達成感や感動を人の何十倍も多く体験することができました。残念ながら社会人となり、仕事の面からはあの時の感動とおなじ気持ちになったことはありません。しかしながらこれからも感動を求めて歩いて行ければ良いと思っております。

## 異年齢が共同する

### クラブづくり

～小学生から高校生までの

体操クラブの指導をとおして～

28 回卒；殿垣 哲也

#### 1. 子どもたちを取り巻くスポーツの状況

ヤクルトの石井投手がメジャーリーグへ、サッカーの中村選手がセリエAへ。スポーツニュースのトップは巨人一阪神戦よりもメジャーリーグ情報。誰もがイチローや中田の活躍をメディアを通じて知っている。

しかし、その背景にあるのは、マスメディアがスポーツを魅力あるドラマとして仕立て上げ、そのスポーツに多国籍企業が乗っかってマーケティングを拡大するという、「スポーツのメディア化」「スポーツの商業化」である。

メジャーリーグは近年、メディアに応えるべくゲーム数を増やすため球団数を大幅に増やした。その結果選手のレベルダウンとともに選手不足に陥っていたのである。イチローの実力もさることながら、日本球界からの優秀な選手の流出にはこういった背景があることも無視できない。早晚、日本のプロ野球は崩壊するか、チームを整理してメジャーリーグに吸収されていくであろう。開催が間近に

迫った日韓共同開催のサッカーワールドカップも大量のメディアを通じて子どもたちを席捲するであろう。

このように子どもたちを取り巻くスポーツは、メディアを通じて「大衆化」し「高度化」していくことは避けられない情勢である。

#### 2. 体操競技の場合（特殊化と高度化）

体操競技には少し違った特徴がある。「大衆化」とは対極にある「特殊化」である。メディアうけするスポーツの影には負け組のスポーツがある。

体操競技は野球やサッカーとは比較にならないほどマイナーでマニアックで高度化したスポーツになりつつある。かつて東京オリンピックで遠藤幸雄先生や早田卓次先生が金メダルを取った頃は、誰もが知っているメジャーなスポーツであった。

私が中学生だった頃は姫路市の中学生大会に団体出場する学校は 20 校近くが参加していたが、今では男女ともに 2 校である。団体出場が減る一方で、学校に体操部はないが個人出場する選手は増えてきているのである。

その原因は、生徒の減少、顧問教員の高齢化、体操を指導できる若い先生がほとんどいなくなったことなどである。指導者の転勤や部員不足により廃部になるところがかなり出ている。しかし、子どもたちの中には、跳ねたり転んだりぶら下がったりする運動が大好きな子たちも多く、その受け皿がなくなったため営利スポーツクラブへと流れていくようである。

競技会で上位を独占するのは小さい頃から十分にトレーニングを積んできたスポーツクラブ出身の選手であり、その矛盾は拡大する一方である。全国大会ではその特徴はさらに顕著で、純粋に部活動だけでやっている選手はゼロに等しい。

高校においてもその延長線上にある。全国大会の上位を占める学校は、有力スポーツクラブ出身者が何人集まるかで順位が決まって

しまうほどである。それ以外の選手たちの属する、いわゆる部活動の体操部は激減の状況である。

国際体操連盟 (FIG) がメディアうけを狙って、高度な技を奨励するようなルールや競技規則、器具を導入し、いっそうマニアックで高度化したスポーツへと変化を遂げつつある。

その象徴的な例として、跳馬が新型跳馬に変更され、より跳ねるものになった。乗馬の曲芸乗りから派生してきた跳馬の姿とは全く変わり、英訳では Vaulting table となってしまった。跳馬ではなくテーブル跳びになってしまったのである。

以上のように技術とルール・器具の改良が絡み合いながら、特殊化と高度化がどんどんエスカレートしてきている。

### 3. 小学生から高校生までの体操クラブ

#### 1) クラブの概要

現在、小学生・中学生男女が 30 名所属し、本校の高校生は 10 名である。私が転勤してきてから三年の間に人づてに増えてきた。子どもたちは学校が終わってから、親が送ってきたり、自分で自転車に乗ってあるいは電車バスを乗り継いでくる子どももいる。

練習時間は平日で 2 時間、休日は 4 時間で、火曜日を休みに設定している、基本的には自分の来られる曜日を設定して、小学校低学年では週 3～4 日程度で高学年～中学生になるにつれて練習時間は増えてくる。

指導者はもう一人の顧問と OB が 3 名、保護者 1 名、の 6 名が指導にあたっている。もちろん指導者はまったくの無報酬で、子どもたちへは万が一の怪我に備えて、スポーツ安全協会の保険に加えて、月払い掛け捨ての傷害保険への加入をお願いしている。

基本的には体操が好きなおもたちの集まりであって、本校への進学を前提とした活動ではないことを確認して入会してもらっている。

練習場所は学校の体育館。器具は豊富にそ

ろっている。バドミントン部と平等に割り当てを行なっている。他のクラブにも迷惑をかけていて、学校の理解がなければ成り立たないのが現状である。

#### 2) 異年齢集団のおもしろさ

練習は個々の目標とする技を各自が自由に種目を選んだり時間配分しながら自主的に取り組んでいる。特に気をつけてアドバイスしていることは、できるできないを評価するのではなく、何のためにその練習が必要なのか、失敗の原因が何なのかを二つ三つさかのぼって考えさせるようにすることである。つまり指導の中身は樹形図のごとく、技が系統的につながっていることを認識させることにある。

例えば「後方 2 回宙返り」をマスターするためには、ずっとさかのぼって側転の連続がタンブリング系の根っこにあり、「スムーズな重心移動」がポイントであることをほとんどの子どもが認識している。その共通の土台で小学生から高校生までが互いに技を見合って「どこが問題でできないか」「できるようになるためには何が必要か」といった会話が飛び交うのである。

私自身も小学生から高校生までの発達年齢の違いを見比べて、この年齢に必要なものは何かを見出し、指導に生かすことができるようになった。また、長いスパンの中でゆとりを持って子どもに向き合うことができるようになった。

高校生にとって、小学生や中学生と一緒に練習することは、過去の自分を振り返ることになり、子どもたちへ教えることが自分の練習にプラスになっている。逆に子どもたちにとっては高校生の姿は未来の自分像となり、お互いに教えあい刺激しあいながら、ぐんぐん伸びてきている。

#### 4. 異年齢が共同するクラブの可能性

他の競技では一部の記録追求トップアスリートとは別に、そのスポーツそのものを楽しもうという人たちが集まるクラブが増えてき



ている。例えば市民ランナーやスイマーたちの姿がその方向性を示しているように思う。体操競技にもそういった動きがないわけではなく、全日本社会人大会の2部選手権などは、体操好きのおじさんたちがうまいへたを越えて、自己表現を楽しみに参加している。

正直なところ、クラブを発足するにあたって、競技力の向上と選手育成が目的であったことは否定できない。しかし、将来的には小・中・高の子どもだけが活動するクラブではなく、体操が好きで働いている大人も一緒に活動に加われたらと考えるようになってきた。

いま実際に大学で活躍した選手がここに帰ってきて、全日本選手権を目指して一緒に練習をしているが、子どもたちにとっては技術以上に大きな刺激を受け、目を輝かせている。

体操競技がマニアックで非人間的な発展をしようとする流れの中で、単に合理的な技術の習得を目指すのではなく、異年齢の仲間が体操競技を通じて共同や連帯の価値を認め、高めていく活動を伸ばしていく必要がある。そんな活動の中から体操競技が本質的に持っている人間らしい、表現することのおもしろさやできないことができるようになるまでの過程のおもしろさを共感できるようなクラブをつくっていききたい。

この原稿は「高校のひろば」43号（旬報社）から転載し加筆したものである

参考文献：井上忠靖『「大衆化」と「高度化」の欲望の狭間で』（2000年、創文企画、現代スポーツ評論2）

## 近況報告

35回卒；大塚 政子

昨年の4月、卒業をしてから丸7年間勤めた会社を辞め、学生ヘリターンしました。

一生働ける仕事をしたいと思い、看護の世界へ踏み込みました。学校は、思っていた以上に大変でした。高校は体育科、大学は商学部籍を置いていましたが、真面目に勉強した事がなかった事に加え、学業から遠ざかっていた私には辛い毎日です。クラスメートは、ほとんどが一回り年が下の子ばかり。私の頭は硬くなっており、授業で言われた事も1度で覚えられなくなっており、焦りとショックで一杯でした。筆記テストでは、初めの数回、緊張のあまり頭が真っ白になり、出題された問題さえ記憶にない状態でした。しかし、月に3～4回ずつ計47回のテストが終わった今では、馴れてしまい緊張もしなくなりました。

ただ、結果が掲示される時は何回経験しても緊張します。なぜなら、1科目ずつ名簿に60点以下の不合格者のみ赤丸が付けられ、再試の日程も発表されるからです。大学は必修科目でも翌年進級し履修が可能でしたが、専門学校は必要な科目しかないため、1つでも単位を落とすと進級できません。再試・追試で取れなければ落第決定です。厳しい所ですが、2年生に進級できた暁には、ナースキャップを頂くことができるのです。今年の5月の載帽式に、クラス全員で参加できれば良いのですが…。

クラスの仲間達は、年齢を気にせず接してくれます。自分が19才の頃を思い出すと、掃除と練習の毎日だった様な気がします。勉強はろくにせず、合宿所と体育館の往復だった事を考えると、しっかりと将来を見つめ勉強している彼女達はすごいと思います。あの時の自分には考えられない事です。しかし、体操部で送った日々は私に大切なものを与えてくれました。努力する事、仲間を信じる事はあの時代があったから得られた事だと思えます。

その環境を与えてくれた人々すべてに感謝しています。

まだまだ学生生活は続き、不安は尽きません。2年生で1ヶ月間の病院実習と、もう1ヶ月は施設(老人・保育園)、3年生で8ヶ月間の実習、自分はこなせるのだろうか?本当に人の命を扱っていい人間なのか?いつも自問してしまいますが、答えは出ません。

30才にしてこんなに悩むとは思っていませんでした。大学を卒業する時は、30才までに結婚して…。とと思っていましたが現実とは全く違っていました。これが良いか悪いのかは分かりませんが、後悔ができる限り少ない人生を歩んで行きたいと思っています。

最後に、このような大役を頂きありがとうございました。今後の桜樹会の発展と日大体操部の益々の活躍を御祈りしております。

## 近況報告

38回卒; 町田 知己

皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、桜樹会より手紙が届いたので、てっきり、年会費を振り込んでなかったかなと思いながら封を開けてみると、『なんじゃ、こりゃ?!』原稿依頼の内容が…。

皆様に忘れられないようにするために、近況報告をしたいと思います。

現在、私は、岡出県苦田郡加茂町の地元へ帰り、加茂町スポーツセンター(加茂町教育委員会・スポーツ振興室)に勤務しています。そこは体育施設がいくつかあり、平成13年4月に体操練習場が完成し、県内外から沢山の体操関係者の皆様に利用していただいています。設備も今の日本の中で最高のものだと思いますし、利用した方々もすごく練習しやすいと言っています。(器具はセノー製・ピットは高密度ウレタンの下にトランポリンがあるもの・新型の跳馬もあるよ)、ぜひ合宿にお越し下さい。宿泊施設は、すぐ隣に「ウディハウス加茂」があります。周りには何もないので合宿には最適です。『山奥じ

ゃけん、夜7:00には真っ暗です。コンビニもありません。』

また、加茂町スポーツセンター・体操練習場で加茂町体操スポーツ少年団(約50名)のジュニアの指導をしています。今は少し低迷しています。私は、学生のとときに学生コーチとして体操部でがんばってきました。そのとときに、梶山先生にいろいろ指導してもらった知識をいかし、加茂体操の復活にむけて指導をしています。指導者の中には、日本大学卒業の先輩たち(寺元良人加茂体操クラブOB会長を始め、小野田博之、平井良幸、中塚伸次先輩の指導、そして水島宏一先輩のアドバイス)といっしょにがんばっています。

子どもの指導もさることながら、社会人大会(2部)も加茂クラブとして参加し、2年連続で団体6位入賞しました。(私はおまけで出場。桜樹会に勝つぞ!!)最初に参加したころは、2ヶ月くらい前から練習をしていましたか、だんだんと練習量も減り、どうしようかなと思っていたときにルールもやさしくなり、昨年は簡単な内容を1週間で調整して参加しました。ずっと参加できるようにしていきたいと思います。

最近、ゴルフも始めました。ゴルフの練習場に行くに従業員の方に『いつでも120%で振りますねー』とよく言われます。(ファー————!!)

今後とも、体操にゴルフにがんばりますので、桜樹会の皆様よろしく願いいたします。

体操練習場のご利用は

『加茂町スポーツセンター』

(0868) 42-3358 まで

また宿泊施設ご利用は

『ウディハウス加茂』

(0868) 42-4466 まで

ご連絡ください。



## 平成 13 年度 事業および行事報告

月	日	事業および行事内容	場 所
4	14～15	東アジア代表決定 (応援)	町田市総合体育館
5	25	会報 35 号および 2001 会員名簿発行・発送	
6	1～2 23～24	東日本インカレ (応援) NHK 杯・世界選手権代表決定・ ユニバー代表決定 (応援・懇親会)	町田市総合体育館 長崎；佐世保市体育文化館
7	15	第 1 回役員会	新宿；ルノアール
8	2～4 8～12	インターハイ (懇親会) 全日本インカレ (応援・懇親会)	熊本；県立総合体育館 長野；真島スポーツアリーナ
9	7～9 8	社会人 (選手派遣・応援・懇親会) 世界選手権桜樹会関係者壮行会	兵庫；尼崎記念公園 レストランパレス大阪；ラ・クール
10	13～18 26～28	国体 (懇親会) 関東学生新人・交流 (応援)	宮城；県スポーツセンター 神奈川；県立体育センター
11	23～25	全日本 (応援・懇親会)	高知；青少年センター体育館
12	8～9	忘年会 (有志)	熱海；ホテル貫一
1	26	新年会 (有志)	新宿；栄寿司二号店
2	16	第 2 回役員会	新宿；ルノアール
3	24 30	第 3 回役員会 (会計監査作業) 平成 13 年度総会・懇親会	日大文理体操場 日大文理「チェリー」

### 世界選手権・ゲント大会桜樹会関係者壮行会＜記念品代協力者；受付順＞

桜井一男, 安藤泰行, 菅野多賀子, 松本恭子, 山本好隆, 青木昭文, 樫一幸, 早乙女貞夫, 伊藤勇, 西繁美, 梅田陽子, 椎名昇, 田野哲, 金子洋平, 志賀正昌, 岩澤稔, 柳沢聖子, 渡辺嘉三, 金子正史, 岡本公子, 加藤真理, 成瀬功, 平川文雄, 金野東, 伊藤訓子, 加藤芳隆, 和田勝, 小柴守夫, 徳永富夫, 境保則, 山内悟, 山崎信恵, 東條恭子, 山脇恭二, 竹村里香, 朝倉徳雄, 小栗郁郎, 畠山繁博, 吉田清一, 早田卓次, 難波万喜子, 伊東恭一, 清水智子, 井本吉彦, 渡辺美弥子, 芳尾明, 山田寿美, 宮崎真由美, 志村久子, 鶴見興人, 海谷美代子, 外山宜男, 松本俊一, 中根均, 井野里奈, 松田明, 舟山忠広, 菅野秀俊, 谷田部光則, 川野耕二, 三富洋昭, 寛山秀成, 岡本みどり, 池田智美, 中島元, 今西悦子, 宇野正信, 相原和明, 鈴木和司, 五十嵐久人, 橋本和雄, 巻島久, 松永政行, 保坂弘一, 大里武光, 柏谷錦一, 西川大輔, 長澤郁子

# 平成13年度 競技会成績

25回卒 遠藤幸一

31回卒 長澤郁子

- ◆ 東アジア代表選考会
- ◆ 2001東アジア競技大会
- ◆ 東日本学生選手権大会
- ◆ ユニバーシアード代表選考会
- ◆ 世界選手権代表選考会
- ◆ 全日本学生選手権大会
- ◆ 全日本社会人選手権大会
- ◆ 全日本選手権大会
- ◆ 国民体育大会
- ◆ 関東学生交流大会
- ◆ 関東学生新人大会

2001 東アジア代表選考会

町田市総合体育館

2001/4/15

男子

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1 富田 洋之	順天堂大学	9.100	9.050	9.600	9.200	9.250	9.050	55.250
36期	2 岩井 則賢	大翔会体操クラブ	8.500	8.950	9.775	9.500	9.250	9.050	55.025
	3 米田 功	徳州会体操クラブ	9.000	9.150	8.650	9.375	8.800	9.350	54.325
	4 笠松 昭宏	中京大・中京クラブ	9.100	9.600	8.075	9.000	8.550	9.400	53.725
	5 斎藤 良宏	大翔会体操クラブ	8.950	8.300	8.975	9.200	8.650	9.400	53.475
	6 鹿島 文博	順天堂大学	8.600	9.750	8.775	9.100	8.150	9.050	53.425
38期	14 林 弘策	大翔会体操クラブ	8.150	8.800	9.000	9.000	8.650	8.900	52.500
41期	17 畠田 健次	河合楽器	7.750	9.100	9.000	8.350	9.100	8.850	52.150
35期	21 増田 宏正	大翔会体操クラブ	8.800	7.900	9.075	9.150	8.450	8.200	51.575
41期	29 平本 将人	河合楽器	8.150	7.200	7.900	9.100	8.250	7.450	48.050
4年	32 鏡 尚志	日本大学	キケン	9.150	キケン	キケン	キケン	キケン	9.150

2001 東アジア代表選考会

町田市総合体育館

2001/4/14-15

女子

順	選手名	所 属	跳馬		段違い平行棒		平均台		ゆか		合計	
	1 竹中 美穂	東海TV東名	8.850	8.675	8.100	8.100	8.550	8.550	8.475	8.450	33.975	33.775
	2 真辺 絢	戸田市SC	8.700	8.800	8.500	8.475	7.425	8.475	8.300	8.450	32.925	34.200
	3 佐原 礼香	リベラル	8.500	8.575	7.375	8.400	8.825	8.400	8.400	8.550	33.100	33.925

(前) 1日目 (後) 2日目

2001東アジア競技大会

大阪

2001/5/19-23

男子団体総合

	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	チーム合計
1. 中国	37.450	36.700	37.750	37.875	38.225	37.550	225.550
2. 日本	35.800	36.675	37.300	37.450	36.075	36.225	219.525
	岩井 則賢	8.950	8.200	9.625	9.625	7.450	52.600
	笠松 昭宏	8.600	9.375		9.225	8.250	44.000
	米田 功	9.200	9.100	8.625	9.275	9.000	54.575
	斎藤 良宏			9.125	9.325	9.225	36.975
	鹿島 文博	8.800	9.200	9.000			27.000
	富田 洋之	8.850	9.300	9.550	9.100	9.600	55.200
3. 韓国	35.375	36.475	36.950	37.075	35.250	34.800	215.925
4. 中国(台湾)	34.800	35.625	34.900	37.050	33.350	32.950	208.675

男子個人総合

	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
YANG Wei (中国)	9.450	9.475	9.525	9.650	9.525	9.300	56.925
LI Dezhi (中国)	9.425	9.375	8.500	9.650	9.600	9.300	55.850
富田洋之(日本)	9.050	9.575	9.625	9.050	9.575	8.475	55.350

男子種目別

種目別ゆか	種目別あん馬
1 LI Xiaopeng CHN 9.650	1 SHIN Hyung-Ook KOR 9.675
2 米田 功 JPN 9.550	1 笠松昭宏 JPN 9.675
2 XING Aowei CHN 9.550	3 HUANG Xu CHN 9.625
種目別つり輪	種目別跳馬
1 岩井 則賢 JPN 9.675	1 XING Aowei CHN 9.437
1 HUANG Xu CHN 9.675	2 LIN Yung-Hsi TPE 9.425
3 富田 洋之 JPN 9.650	3 LI Xiaopeng CHN 9.375
	4 岩井則賢 JPN 9.337
種目別平行棒	種目別鉄棒
1 富田洋之 JPN 9.600	1 XING Aowei CHN 9.700
1 HUANG Xu CHN 9.600	2 YERIMBETOV Yernar KAZ 9.475
3 斎藤良宏 JPN 9.350	3 斎藤良宏 JPN 9.450

2001 男子		東日本学生選手権大会		町田市総合体育館					2001/6/1-2	
順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計		
1	順天堂大学	44.250'	45.700'	44.750'	45.900'	44.450'	45.650'	270.700		
2	日本体育大学	44.150'	44.600'	43.050'	45.675'	44.950'	43.450'	265.875		
3	日本大学	44.200'	45.100'	43.800'	43.925'	43.150'	42.450'	262.625		
4	筑波大学	42.450'	42.175'	42.550'	44.650'	42.500'	42.750'	257.075		

個人成績										
学年	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
3年	1	富田 洋之	順天堂大学	9.150' ; 1	9.000' ; 1	9.700' ; 1	9.175' ; 1	9.550' ; 1	8.450' ; 1	55.025
3年	2	鹿島 文博	順天堂大学	9.050' ; 1	9.600' ; 1	8.950' ; 1	9.250' ; 1	8.550' ; 1	9.200' ; 1	54.600
3年	3	白石 孝太	日本体育大学	9.150' ; 1	8.650' ; 1	8.550' ; 1	9.375' ; 1	9.350' ; 2	9.350' ; 2	54.425
2年	5	芳村 裕生	日本大学	9.200' ; 3	8.750' ; 1	8.800' ; 1	9.225' ; 5	9.100' ; 3	8.050' ; 1	53.125
4年	12	鏡 尚志	日本大学	9.100' ; 6	8.450' ; 1	8.600' ; 1	9.100' ; 1	8.450' ; 1	9.000' ; 6	52.700
2年	13	若松 伸	日本大学	8.000' ; 1	9.200' ; 1	8.900' ; 1	8.750' ; 1	8.850' ; 1	8.550' ; 1	52.250
4年	15	太田 崇	日本大学	8.550' ; 1	8.650' ; 1	9.250' ; 4	8.500' ; 1	8.550' ; 1	8.450' ; 1	51.950
3年	22	古市 正樹	日本大学	9.100' ; 6	9.100' ; 1	8.250' ; 1	8.150' ; 1	8.000' ; 1	8.400' ; 1	51.000
3年	28	佐藤 佑介	日本大学	8.250' ; 1	9.400' ; 4	8.200' ; 1	8.350' ; 1	8.200' ; 1	7.950' ; 1	50.350
4年	30	古川 哲也	日本大学:個人	8.650' ; 1	8.500' ; 1	7.750' ; 1	8.650' ; 1	8.100' ; 1	8.600' ; 1	50.250
4年	87	木村 光	日本大学:個人	0.000' ; 1	8.350' ; 1	8.700' ; 1	8.550' ; 1	8.400' ; 1	8.050' ; 1	42.050

2001 女子		東日本学生選手権大会		町田市総合体育館			2001/6/1-2	
順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計		
1	日本体育大学	46.725'	45.775'	44.875'	44.525'	181.900		
2	東京女子体育大学	44.525'	42.600'	42.325'	43.450'	172.900		
3	筑波大学	43.950'	42.350'	42.050'	43.125'	171.475		
4	日本大学	42.575'	43.150'	42.625'	41.925'	170.275		

個人成績								
学年	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
4年	1	大須賀由美	日本体育大学	9.725' ; 1	9.600' ; 1	9.225' ; 1	9.200' ; 3	37.750
3年	2	北村 彩子	東京学芸大学	9.525' ; 3	9.300' ; 3	9.400' ; 1	9.250' ; 2	37.475
1年	3	山本さとみ	仙台大学	9.625' ; 2	9.300' ; 3	9.250' ; 1	9.200' ; 3	37.375
4年	18	井上あい子	日本大学	8.850' ; 1	8.250' ; 1	8.775' ; 1	8.500' ; 1	34.375
1年	20	錦井 智子	日本大学	8.650' ; 1	8.600' ; 1	8.400' ; 1	8.550' ; 1	34.200
4年	21	斎藤みずき	日本大学	8.450' ; 1	9.050' ; 1	8.000' ; 1	8.575' ; 1	34.075
2年	26	山北恵理子	日本大学	8.150' ; 1	8.750' ; 1	8.750' ; 1	8.000' ; 1	33.650
4年	36	半藤 京子	日本大学:個人	8.550' ; 1	8.250' ; 1	7.750' ; 1	8.150' ; 1	32.700
2年	39	山本加奈絵	日本大学:個人	8.400' ; 1	7.550' ; 1	8.150' ; 1	8.500' ; 1	32.600
3年	43	岡崎 恵美	日本大学	8.475' ; 1	7.400' ; 1	8.250' ; 1	8.300' ; 1	32.425
3年	48	上川みゆき	日本大学	7.900' ; 1	8.500' ; 1	8.450' ; 1	7.300' ; 1	32.150
3年	77	利根 彩恵	日本大学:個人	7.950' ; 1	8.150' ; 1	7.950' ; 1	5.700' ; 1	29.750

2001 ユニバーシアード代表選考会

長崎・佐世保

2001/6/23

男子

個人成績

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	塚原 直也	朝日生命	8.750	9.200	8.700	9.300	9.550	9.225	54.725
2	富田 洋之	順天堂大学	8.525	9.000	9.375	9.100	9.250	9.300	54.550
3	佐野 友治	徳洲会体操クラブ	8.650	9.400	9.150	8.800	8.900	9.525	54.425
4	水鳥 寿思	日本体育大学	8.900	9.350	8.650	8.850	8.900	9.550	54.200
5	米田 功	徳洲会体操クラブ	8.850	9.000	8.525	9.325	8.800	9.300	53.800
2年	6 芳村 裕生	日本大学	8.900	8.850	8.950	9.250	8.900	8.700	53.550
4年	13 鏡 尚志	日本大学	8.700	8.950	8.550	8.900	8.650	9.000	52.750
41期	19 畠田 健次	河合楽器	7.850	8.250	8.925	8.825	8.800	8.875	51.525
41期	31 平本 将人	河合楽器	8.400	7.150	8.350	9.050	8.100	8.150	49.200
3年	33 古市 正樹	日本大学	8.350	7.600	8.350	7.800	8.300	8.000	48.400

2001 ユニバーシアード代表選考会

長崎・佐世保

2001/6/23

女子

個人成績

順	選手名	所 属	跳馬	段違い	平均台	ゆか	合計
1	北村 彩子	東京学芸大学	8.675	8.350	8.350	8.450	33.825
2	中瀬 直子	得森大学	8.600	7.650	8.250	8.450	32.950
3	山本さとみ	山台大学	8.825	8.100	8.100	7.800	32.825
4	大須賀由美	日本体育大学	8.950	7.400	8.700	7.700	32.750
5	奥本 恵理	武庫川女子大学	7.900	8.300	8.450	7.975	32.625
1年	19 錦井 智子	日本大学	7.900	6.600	7.350	7.600	29.450
4年	20 斎藤みずき	日本大学	6.850	8.100	7.200	7.125	29.275

2001 世界選手権代表選考会

長崎・佐世保

2001/6/23-24

男子

個人成績

(上)1日目 (下)2日目

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	塚原 直也	朝日生命	8.750	9.200	8.700	9.300	9.550	9.225	54.725
			9.050	9.250	9.125	9.100	9.600	9.175	55.300
2	富田 洋之	順天堂大学	8.525	9.000	9.375	9.100	9.250	9.300	54.550
			8.725	9.000	9.450	9.125	9.000	9.425	54.725
3	岩井 則賢	大翔会体操クラブ	8.500	8.600	9.575	9.575	9.250	8.900	54.400
			8.875	8.700	9.550	9.000	9.175	9.100	54.400
3	佐野 友治	徳洲会体操クラブ	8.650	9.400	9.150	8.800	8.900	9.525	54.425
			8.300	9.200	9.350	9.000	9.100	9.425	54.375
5	斎藤 良宏	大翔会体操クラブ	8.950	8.750	8.925	9.300	9.000	9.350	54.275
			8.600	8.850	8.975	9.175	8.950	9.275	53.825
6	米田 功	徳洲会体操クラブ	8.850	9.000	8.525	9.325	8.800	9.300	53.800
			9.400	9.000	8.550	9.200	8.850	9.200	54.200
38期	10 林 弘策	大翔会体操クラブ	8.500	8.700	8.850	9.000	8.800	9.125	52.975
			8.550	8.900	8.600	9.200	8.900	9.225	53.375
4年	14 鏡 尚志	日本大学	8.700	8.950	8.550	8.900	8.650	9.000	52.750
			8.650	9.100	8.625	9.325	8.550	8.250	52.500
41期	20 畠田 健次	河合楽器	7.850	8.250	8.925	8.825	8.800	8.875	51.525
			7.800	8.600	9.100	8.900	8.850	8.900	52.150
41期	28 平本 将人	河合楽器	8.400	7.150	8.350	9.050	8.100	8.150	49.200
			8.950	7.850	8.450	9.225	8.850	8.950	52.275
35期	34 増田 宏正	大翔会体操クラブ	7.900	8.300	8.700	0.000	8.600	8.600	42.100
			キケン	キケン	キケン	キケン	キケン	キケン	0.000
40期	35 岸本 拓也	大翔会体操クラブ	0.000	9.150	8.300	0.000	0.000	0.000	17.450
			0.000	9.200	8.325	0.000	0.000	0.000	17.525

2001 世界選手権代表選考会

長崎・佐世保

2001/6/23-24

女子

個人成績

(上)1日目 (下)2日目

順	選手名	所 属	跳馬	段違い	平均台	ゆか	平行棒
1	佐原 礼香	リベラル体操クラブ	8.575	8.400	8.875	8.450	34.300
			8.700	8.300	8.825	8.475	34.300



2001

全日本学生選手権大会

長野・ホワイトリング

2001/8/8-12

男子

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	順天堂大学	44.250	45.300	45.600	46.100	44.825	46.100	272.175
2	日本体育大学	45.450	44.850	45.075	45.350	45.050	45.100	270.875
3	日本大学	42.850	44.300	45.725	44.650	42.850	43.200	263.575
4	筑波大学	42.250	44.250	43.450	45.150	42.100	44.225	261.425

男子

個人成績

学年	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
3年	1	富田 洋之	順天堂大学	8.800	9.550	9.700	9.200	9.625	9.300	56.175
3年	2	水島 寿思	日本体育大学	9.175	9.400	9.000	9.050	9.250	9.500	55.375
3年	3	鹿島 文博	順天堂大学	8.950	9.700	8.800	9.200	8.900	9.450	55.000
2年	6	芳村 裕生	日本大学	9.200	8.900	9.425	9.400	8.500	8.500	53.925
4年	18	太田 崇	日本大学	8.800	9.000	9.350	8.250	8.700	8.300	52.400
3年	22	佐藤 佑介	日本大学	8.300	9.350	8.550	8.400	9.000	8.600	52.200
4年	24	鏡 尚志	日本大学	8.200	8.500	8.800	9.250	8.350	8.950	52.050
3年	28	古市 正樹	日本大学	8.250	8.550	8.950	8.900	8.300	8.400	51.350
2年	37	若松 伸	日本大学	8.300	7.700	9.200	8.700	8.000	8.750	50.650
2年	40	田崎 裕祐	日本大学*	8.400	8.250	8.300	8.950	8.500	8.050	50.450
1年	40	塚本 泰裕	日本大学*	8.700	8.200	8.100	8.800	8.250	8.400	50.450
4年	66	古川 哲也	日本大学*	8.600	7.750	7.900	8.900	7.000	8.500	48.650
2年	85	西村 祥	日本大学*	7.900	7.950	8.850	8.650	6.800	7.550	47.700

男子

個人総合

学年	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
3年	1	富田 洋之	順天堂大学	9.100	9.600	9.450	9.400	9.500	8.850	55.900
3年	2	鹿島 文博	順天堂大学	9.000	9.775	8.850	9.175	9.200	9.200	54.700
3年	3	田原 直哉	日本体育大学	8.550	8.950	9.300	9.400	9.050	9.100	54.350
2年	5	芳村 裕生	日本大学	9.200	9.000	9.425	9.250	8.100	9.050	54.025
4年	8	太田 崇	日本大学	9.000	8.850	9.350	8.700	8.800	8.450	53.150
4年	11	鏡 尚志	日本大学	8.700	9.250	8.800	9.200	8.500	8.400	52.850
3年	27	古市 正樹	日本大学	8.300	8.950	8.950	8.400	8.550	8.200	51.350
3年	30	佐藤 佑介	日本大学	8.250	9.200	8.300	8.300	8.600	8.500	51.150

※跳馬種目別は2本跳越の平均

2001

全日本学生選手権大会

長野・ホワイトリング

2001/8/8-12

女子

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	42.150	38.725	40.050	40.100	161.025
2	武庫川女子大学	41.850	39.400	39.200	39.400	159.850
3	東京女子体育大学	40.000	38.775	37.600	37.950	154.325
6	日本大学	39.850	36.325	34.450	37.750	148.375

女子

個人成績

学年	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
4年	1	大須賀由美	日本体育大学	8.875	7.600	8.850	8.200	33.525
2年	2	小高 若菜	日本体育大学	8.675	8.500	7.350	8.050	32.575
3年	3	森重 友子	東京女子体育大学	8.525	7.500	8.200	8.000	32.225
1年	18	錦井 智子	日本大学	7.925	7.250	8.100	7.750	31.025
3年	22	利根 彩恵	日本大学*	7.600	7.950	7.850	7.250	30.650
2年	31	山北恵理子	日本大学	7.950	7.575	7.250	7.350	30.125
4年	43	斎藤みずき	日本大学	8.000	8.000	6.500	6.700	29.200
3年	54	岡崎 恵美	日本大学	7.700	6.400	6.500	7.450	28.050
2年	60	山本加奈絵	日本大学*	7.775	6.500	5.850	7.700	27.825
4年	61	井上あい子	日本大学	8.275	5.400	6.100	7.850	27.625
3年	63	上川みゆき	日本大学	7.150	7.100	6.000	7.350	27.600
4年	80	山崎 紀子	日本大学*	7.225	4.750	6.400	7.250	25.625

女子

個人総合

学年	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
4年	1	大須賀由美	日本体育大学	8.937	8.650	8.600	8.625	34.812
4年	2	得能 香織	日本体育大学	8.575	8.200	7.350	8.125	32.250
2年	3	小高 若菜	日本体育大学	8.362	8.550	7.350	7.950	32.212
1年	19	錦井 智子	日本大学	7.587	7.650	7.150	7.800	30.187
3年	27	利根 彩恵	日本大学*	6.550	7.950	7.300	7.425	29.225

2001 全日本社会人選手権大会 1部 尼崎市記念公園総合体育館 2001/9/7-9

男子	順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	徳洲会体操クラブ	43.425 <sup>1</sup>	45.400 <sup>1</sup>	45.700 <sup>1</sup>	45.900 <sup>1</sup>	45.275 <sup>1</sup>	46.350 <sup>1</sup>	272.050
	2	大翔会体操クラブ	43.650 <sup>1</sup>	44.250 <sup>1</sup>	45.650 <sup>1</sup>	43.850 <sup>1</sup>	45.400 <sup>1</sup>	45.650 <sup>1</sup>	268.450
	3	河合楽器	42.925 <sup>1</sup>	44.000 <sup>1</sup>	44.700 <sup>1</sup>	44.150 <sup>1</sup>	44.500 <sup>1</sup>	46.050 <sup>1</sup>	266.325
	4	東海メイト	39.500 <sup>1</sup>	37.250 <sup>1</sup>	40.400 <sup>1</sup>	42.600 <sup>1</sup>	41.050 <sup>1</sup>	39.850 <sup>1</sup>	240.650

個人総合

	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	藤田 健一	徳洲会体操クラブ	9.050 <sup>1</sup> 5	8.950 <sup>1</sup> 8	9.400 <sup>1</sup> 3	9.500 <sup>1</sup> 1	9.200 <sup>1</sup> 4	9.650 <sup>1</sup> 1	55.750
	2	斉藤 良宏	大翔会体操クラブ	9.100 <sup>1</sup> 4	9.050 <sup>1</sup> 6	9.200 <sup>1</sup> 7	9.200 <sup>1</sup> 5	9.300 <sup>1</sup> 2	9.500 <sup>1</sup> 3	55.350
	3	佐野 友治	徳洲会体操クラブ	8.600 <sup>1</sup> 17	9.600 <sup>1</sup> 1	9.300 <sup>1</sup> 5	9.300 <sup>1</sup> 2	8.750 <sup>1</sup> 22	9.500 <sup>1</sup> 3	55.050
41期	8	平本 将人	河合楽器	9.125 <sup>1</sup> 3	8.700 <sup>1</sup> 15	8.600 <sup>1</sup> 19	9.200 <sup>1</sup> 5	8.800 <sup>1</sup> 18	9.350 <sup>1</sup> 6	53.775
38期	14	林 弘策	大翔会体操クラブ	8.100 <sup>1</sup> 28	8.800 <sup>1</sup> 13	9.100 <sup>1</sup> 12	8.500 <sup>1</sup> 30	8.950 <sup>1</sup> 14	9.400 <sup>1</sup> 5	52.850
35期	16	増田 宏正	大翔会体操クラブ	8.300 <sup>1</sup> 24	8.850 <sup>1</sup> 10	9.200 <sup>1</sup> 7	8.750 <sup>1</sup> 16	8.850 <sup>1</sup> 17	8.750 <sup>1</sup> 19	52.700
40期	18	岸本 拓也	大翔会体操クラブ	8.350 <sup>1</sup> 23	8.700 <sup>1</sup> 15	8.800 <sup>1</sup> 17	8.250 <sup>1</sup> 36	9.000 <sup>1</sup> 23	8.850 <sup>1</sup> 18	51.950
41期	20	畠田 健次	河合楽器	8.100 <sup>1</sup> 28	7.700 <sup>1</sup> 30	9.200 <sup>1</sup> 7	8.600 <sup>1</sup> 26	8.900 <sup>1</sup> 15	8.950 <sup>1</sup> 15	51.450
42期	24	高橋 勇騎	高知県体操協会	8.100 <sup>1</sup> 28	8.500 <sup>1</sup> 19	8.150 <sup>1</sup> 30	8.600 <sup>1</sup> 26	8.550 <sup>1</sup> 24	8.700 <sup>1</sup> 20	50.600
39期	25	若山 卓	大翔会体操クラブ	9.150 <sup>1</sup> 2	8.850 <sup>1</sup> 10	8.600 <sup>1</sup> 19	6.200 <sup>1</sup> 41	9.100 <sup>1</sup> 6	8.200 <sup>1</sup> 30	50.100

2001 全日本社会人選手権大会 2部 尼崎市記念公園総合体育館 2001/9/7-9

男子	順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	日大櫻樹クラブ	27.500 <sup>1</sup>	27.475 <sup>1</sup>	27.950 <sup>1</sup>	28.450 <sup>1</sup>	28.750 <sup>1</sup>	29.000 <sup>1</sup>	169.125
	2	鯖江ビタリクラブ	26.500 <sup>1</sup>	26.900 <sup>1</sup>	28.250 <sup>1</sup>	28.400 <sup>1</sup>	28.050 <sup>1</sup>	28.450 <sup>1</sup>	166.550
	3	順友クラブ	27.250 <sup>1</sup>	27.075 <sup>1</sup>	26.750 <sup>1</sup>	28.150 <sup>1</sup>	28.000 <sup>1</sup>	29.100 <sup>1</sup>	166.325

個人総合

	順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
37期	1	吉田 義経	日大櫻樹クラブ	9.250 <sup>1</sup> 1	8.900 <sup>1</sup> 14	9.450 <sup>1</sup> 4	9.750 <sup>1</sup> 2	9.500 <sup>1</sup> 6	9.750 <sup>1</sup> 4	56.600
36期	2	林 秀樹	大和田石英体操クラブ	8.700 <sup>1</sup> 54	9.400 <sup>1</sup> 2	9.600 <sup>1</sup> 1	9.100 <sup>1</sup> 40	9.700 <sup>1</sup> 1	9.850 <sup>1</sup> 1	56.350
	3	大竹 秀一	順友クラブ	9.150 <sup>1</sup> 5	9.325 <sup>1</sup> 4	9.300 <sup>1</sup> 8	9.450 <sup>1</sup> 6	9.300 <sup>1</sup> 23	9.800 <sup>1</sup> 2	56.325
41期	4	門脇 年宏	日大櫻樹クラブ	9.100 <sup>1</sup> 8	9.350 <sup>1</sup> 3	9.300 <sup>1</sup> 8	9.300 <sup>1</sup> 15	9.650 <sup>1</sup> 2	9.550 <sup>1</sup> 17	56.250
27期	6	島田 利夫	日大櫻樹クラブ	9.150 <sup>1</sup> 5	8.700 <sup>1</sup> 20	9.200 <sup>1</sup> 13	9.400 <sup>1</sup> 7	9.600 <sup>1</sup> 4	9.650 <sup>1</sup> 10	55.700
34期	14	林 克彦	大和田石英体操クラブ	9.000 <sup>1</sup> 16	8.700 <sup>1</sup> 20	9.400 <sup>1</sup> 5	9.050 <sup>1</sup> 50	9.350 <sup>1</sup> 20	9.700 <sup>1</sup> 7	55.200
41期	19	辛島 稔宜	日大櫻樹クラブ	8.900 <sup>1</sup> 25	9.225 <sup>1</sup> 6	8.600 <sup>1</sup> 56	9.150 <sup>1</sup> 35	9.000 <sup>1</sup> 38	9.600 <sup>1</sup> 14	54.475
36期	22	関根 功	大和田石英体操クラブ	8.750 <sup>1</sup> 50	8.800 <sup>1</sup> 19	8.700 <sup>1</sup> 46	9.300 <sup>1</sup> 15	9.000 <sup>1</sup> 38	9.400 <sup>1</sup> 32	53.950
34期	24	君嶋 孝之	日大櫻樹クラブ	9.000 <sup>1</sup> 16	8.100 <sup>1</sup> 53	8.900 <sup>1</sup> 30	9.200 <sup>1</sup> 26	9.400 <sup>1</sup> 11	9.100 <sup>1</sup> 70	53.700
38期	40	町田 知己	加茂体操クラブ	8.550 <sup>1</sup> 73	8.400 <sup>1</sup> 39	8.700 <sup>1</sup> 46	8.600 <sup>1</sup> 106	9.000 <sup>1</sup> 38	9.300 <sup>1</sup> 45	52.550
26期	59	川畑 龍雄	兵庫フェニックス	8.850 <sup>1</sup> 35	7.450 <sup>1</sup> 102	7.850 <sup>1</sup> 144	8.850 <sup>1</sup> 76	9.625 <sup>1</sup> 3	8.900 <sup>1</sup> 88	51.525
34期	164	中塚 伸次	加茂体操クラブ	8.900 <sup>1</sup> 25	8.600 <sup>1</sup> 27	キケン <sup>1</sup>	9.100 <sup>1</sup> 40	9.300 <sup>1</sup> 23	9.100 <sup>1</sup> 70	45.000
	217	ミッキー チャレン	小金井クラブ	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	8.000 <sup>1</sup> 119	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	8.000
33期	221	三富 洋昭	新潟クラブ	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	キケン <sup>1</sup>	0.000

2001 全日本社会人選手権大会 1部 尼崎市記念公園総合体育館 2001/9/7-9

女子	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	松本 林子	松本土地区屋敷園遊士事務所	8.675 <sup>1</sup>	7.850 <sup>1</sup>	7.900 <sup>1</sup>	8.400 <sup>1</sup>	32.825
	2	小池 奈実	藤村クラブ	8.200 <sup>1</sup>	7.700 <sup>1</sup>	8.000 <sup>1</sup>	7.925 <sup>1</sup>	31.825

2001 全日本社会人選手権大会 2部 尼崎市記念公園総合体育館 2001/9/7-9

女子	順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	江里口奈緒	藤村クラブ	8.000 <sup>1</sup>	8.350 <sup>1</sup>	8.750 <sup>1</sup>	9.000 <sup>1</sup>	34.100
	2	櫻田 笑子	大坂さつきクラブ	8.025 <sup>1</sup>	8.550 <sup>1</sup>	8.200 <sup>1</sup>	8.850 <sup>1</sup>	33.625
	3	加藤 寿美	中興b f ロスワンクラブ	8.300 <sup>1</sup>	8.250 <sup>1</sup>	7.750 <sup>1</sup>	8.450 <sup>1</sup>	32.750

2001 全日本選手権大会		高知県青少年センター体育館					2001/11/23-25		
男子	順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
	1	大翔会体操クラブ	45.475	45.750	46.875	45.350	44.050	45.350	272.850
	2	順天堂大学	44.275	46.875	45.725	45.025	43.950	46.050	271.900
	3	徳洲会体操クラブ	45.675	45.300	46.250	45.100	42.800	46.750	271.875
	4	日本体育大学	44.400	43.925	44.250	45.875	45.900	45.950	270.300
	5	日本大学	44.225	44.600	45.050	44.650	43.550	42.950	265.025
	6	河合楽器	42.050	42.800	44.975	45.050	44.100	43.300	262.275
	7	筑波大学	43.100	42.600	43.775	44.100	42.300	43.650	259.525

団体総合個人成績

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	富田 洋之	順天堂大学	9.325	9.525	9.750	9.225	9.500	9.450	56.775
2	斎藤 良宏	大翔会体操クラブ	9.300	9.400	9.350	9.150	8.750	9.650	55.600
3	米田 功	徳洲会体操クラブ	9.575	9.100	8.550	9.300	9.150	9.550	55.225
39期	10	若山 卓	9.500	9.050	8.700	9.200	8.750	9.000	54.200
38期	11	林 弘策	8.700	9.000	9.325	8.750	9.000	9.250	54.025
35期	15	増田 宏正	8.900	8.850	9.375	9.100	8.700	8.800	53.725
2年	20	芳村 裕生	8.925	8.800	9.300	9.250	9.000	8.200	53.475
4年	26	鏡 尚志	9.000	9.100	8.525	9.150	8.450	9.050	53.275
2年	36	若松 伸	8.250	8.900	8.950	8.750	8.800	8.750	52.400
40期	38	岸本 拓也	8.575	9.450	9.150	8.800	8.650	7.700	52.325
4年	38	太田 崇	8.900	8.900	9.325	8.400	8.700	8.100	52.325
2年	41	田崎 裕祐	8.800	8.900	8.800	8.700	8.600	8.200	52.000
41期	43	畠田 健次	7.750	8.750	9.550	8.800	8.800	8.250	51.900
3年	48	宮原 克典	8.600	8.450	8.675	8.800	8.050	8.750	51.325
42期	49	高橋 勇騎	8.300	9.150	8.250	8.700	7.850	9.000	51.250
41期	60	平本 将人	8.650	7.400	7.850	9.350	8.400	8.650	50.300

個人総合

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	富田 洋之	順天堂大学	9.350	9.250	9.550	9.100	8.900	9.450	55.600
2	塚原 直也	朝日生命	8.800	9.375	9.400	9.000	9.500	9.250	55.325
3	藤田 健一	徳洲会体操クラブ	8.900	9.250	9.325	9.100	9.050	9.600	55.225
39期	9	若山 卓	9.525	8.900	8.625	9.300	8.900	8.950	54.200
38期	10	林 弘策	8.700	8.850	9.175	9.000	8.900	9.300	53.925
4年	15	鏡 尚志	8.950	9.150	8.450	9.125	8.650	9.050	53.375
35期	19	増田 宏正	8.900	8.000	9.400	9.050	8.700	8.650	52.700
2年	23	若松 伸	8.175	8.950	8.950	8.750	8.700	8.750	52.275
2年	26	芳村 裕生	9.200	7.400	8.900	9.275	8.450	8.900	52.125

種目別 (日大・桜樹関係者のみ)

ゆか	6	若山 卓	大翔会体操クラブ	8.900
あん馬	3	岸本 拓也	大翔会体操クラブ	9.400
つり輪	6	畠田 健次	河合楽器	9.175
跳馬	2	平本 将人	河合楽器	9.100
跳馬	7	芳村 裕生	日本大学	8.425

2001 全日本選手権大会 高知県青少年センター体育館 2001/11/23-25

女子	順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
	1	朝日生命体操クラブ	44.250	42.100	44.050	44.075	174.475
	2	戸田市スポーツセンター	42.850	40.075	41.250	41.925	166.100
	3	日本体育大学	42.050	38.250	39.850	41.000	161.150
	4	四天王寺スポーツクラブ	42.450	38.025	38.400	37.525	156.400
	5	レジャックススポーツ	40.450	36.050	39.475	39.750	155.725
	6	武庫川女子大学	42.850	34.475	36.275	40.800	154.400

団体総合個人成績

順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	佐原 礼香	リベラル体操クラブ	8.650	8.525	9.375	9.000	35.550
2	大島 香子	朝日生命体操クラブ	9.225	8.500	9.075	8.725	35.525
3	溝口絵理加	朝日生命体操クラブ	8.975	8.825	8.900	8.675	35.375
1年	53	錦井 智子	8.000	6.100	8.100	8.050	30.250

個人総合

順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	溝口絵理加	朝日生命体操クラブ	8.637	8.600	9.025	8.825	35.087
2	佐原 礼香	リベラル体操クラブ	8.487	8.475	9.050	8.950	34.962
3	大島 香子	朝日生命体操クラブ	8.400	8.450	8.875	9.050	34.775

2001 国民体育大会

宮城県スポーツセンター

2001/10/12-17

男子

個人成績

順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	葛西玲広	日本大学	8.250	8.450	8.650	8.900	9.450		43.700
4年	木村 光	日本大学	7.900	8.600	8.650	8.650			33.800
1年	塚本泰裕	日本大学	8.750	7.850		8.800	8.700	9.050	43.150
3年	古市正樹	日本大学	8.700	7.700	8.800		6.600		31.800
37期	吉田義経	白樺養護学校			8.200	8.900	8.250	8.700	34.050
41期	渡辺稔宣	崇徳高校		8.700				7.600	16.300
2年	若松 伸	日本大学	8.300	6.550	8.050	8.800	8.700	9.000	49.400
41期	畠田健次	河合楽器	8.500	9.250	9.550	8.900	9.600	9.350	55.150

2001 国民体育大会

宮城県スポーツセンター

2001/10/12-17

女子

個人成績

順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
3年	内藤 啓子	日本大学	7.750	6.000	7.950	7.400	29.100
4年	井上あい子	日本大学	7.000	7.200	8.450	8.350	31.000
42期	関根 彩	仙台大学			8.750	8.850	17.600
2年	松本 陽奈	日本大学	7.100	0.000	6.300	6.250	19.650
1年	錦井 智子	日本大学	8.475	7.300	8.850	8.350	32.975
2年	山本加奈絵	日本大学	8.475	7.950	8.450	8.650	33.525

2001 関東学生交流大会

神奈川県立体育センター

2001/10/27

男子

個人成績

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
2年	1	藤岡大輔	日本体育大学	8.600	8.950	8.300	8.900	8.500	8.700	51.950
3年	2	能勢龍二	日本大学	8.550	7.950	9.150	8.900	8.750	8.450	51.750
3年	3	野村俊介	日本大学	8.600	7.550	9.200	8.800	8.300	8.300	50.750
3年	5	宮原克典	日本大学	8.650	8.450	8.800	8.850	8.150	7.350	50.250
2年	5	松谷育英	日本大学	8.450	7.900	8.650	8.800	6.350	8.100	50.250
3年	11	葛西望	日本大学	8.400	6.450	8.350	8.900	8.100	7.500	47.700

2001 関東学生交流大会

神奈川県立体育センター

2001/10/27

女子

個人成績

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
3年	1	日向彩百合	日本大学	8.950	8.750	8.350	8.900	34.950
2年	2	寺岡久美子	東京女子体育大学	9.250	8.800	7.925	8.600	34.575
3年	3	橋本綾乃	日本体育大学	8.100	8.350	9.100	8.750	34.300
3年	25	内藤啓子	日本大学	0.000	7.950	0.000	0.000	7.950

2001 関東学生新人大会

神奈川県立体育センター

2001/10/27-28

男子

順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	35.350	31.150	35.650	36.550	34.700	35.000	208.400
2	日本大学	34.050	33.800	33.900	34.350	33.350	34.400	203.850
3	順天堂大学	34.750	30.950	34.250	34.650	33.150	32.700	200.450

個人総合

学年	順	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1年	1	重村卓哉	順天堂大学	9.250	8.700	9.500	8.850	9.000	9.050	54.350
1年	2	仲里隆太	日本体育大学	8.800	7.350	9.000	9.100	8.850	9.200	52.300
1年	3	鈴木章郎	日本体育大学	8.650	8.650	8.800	9.000	8.400	8.700	52.200
1年	4	塚本泰裕	日本大学	8.600	8.650	8.650	8.850	8.550	8.800	52.100
1年	7	森 光大	日本大学	8.200	8.750	8.300	8.400	8.200	8.700	50.550
1年	8	笹村昌宏	日本大学	8.650	8.650	8.450	8.700	7.950	8.100	50.500
1年	12	徳永哲人	日本大学	8.300	7.750	8.500	7.900	8.400	8.500	49.350
1年	17	佐伯良治	日本大学	8.500	6.800	8.150	8.400	8.200	8.400	48.450
1年	22	石渡幸一	日本大学	8.050	6.900	7.900	8.400	8.150	7.950	47.350
1年	23	須藤大地	日本大学	8.050	7.500	8.300	8.200	7.900	7.300	47.250
1年	38	福島武広	日本大学	8.350	5.950	7.050	8.300	6.850	6.850	43.350
1年	39	田村元永	日本大学	6.250	5.900	8.350	7.950	7.350	5.950	41.750

2001 関東学生新人大会

神奈川県立体育センター

2001/10/27-28

女子

順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	35.200	29.500	33.275	33.550	131.525
2	東京女子体育大学	34.150	32.300	32.050	33.900	132.400
3	防衛大学校	18.800	5.700	11.000	16.450	51.950

個人総合

学年	順	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1年	1	伊藤知賀子	筑波大学	8.550	9.100	9.400	8.550	35.600
1年	2	錦井智子	日本大学	8.550	7.800	9.475	9.025	34.850
1年	3	穂積里沙	上智大学	8.800	7.900	9.025	9.075	34.800
1年	4	小野鮎子	日本大学	8.800	8.600	7.900	8.950	34.250

# 平成 13 年度 懇親会報告

## 東北支部懇親会

日時) 平成 13 年 8 月 24 日(金) 19:00～

会場) 福島 ; 福島グリーンパレス

幹事) 7 ; 佐藤勲

参加) 1 ; 石井征也、7 ; 佐藤勲、8 ; 大和孝三

11 ; 宇野正信・松田明、14 ; 青木文次、

16 ; 椎名厚、20 ; 増子俊子、25 ; 桑原透、

31 ; 井本吉彦、32 ; 大塚孝幸、33 ; 橋本和雄

以上 12 名

報告) 初の桜樹会東北支部懇親会開かる。

去る 8 月 24 日、東北支部懇親会が東北ミニ国体初日、福島市で開催された。大会日程の関係で夜の 7 時開催となったが、石井会長をはじめ 12 名の会員が参集し厳粛に執り行われた。

会は青木氏の名進行に助けられ、会長挨拶、会員の近況報告に始まり、会員を取り巻く内外の諸問題、情報交換、そして最後は、やはり現役時代の合宿生活の武勇伝など、楽しい時間を持つことができた。緩んだままの支部の絆をより強いものに変えたことと思う。

石井会長には、体調不良(その後回復された由)そして御多忙の中、遠路駆けつけていただいた。暖かい激励の言葉に、心強く感じた会員も多かったに違いない。

会長がこられて、この会もより充実したものになった。この場を借りて謝意を表する次第である。来年は、山形を予定している。

(7 回卒 ; 佐藤 勲 記)

## 国体懇親会

日時) 平成 13 年 10 月 15 日(月) 18:30～

会場) 仙台 ; 稲荷小路「〇△□」

会費) 6,000 円

幹事) 18 ; 松田洋・松田加津子、

21 ; 田中康義、39 ; 若松洋一

参加) 顧; 勢能一男、4 ; 早田卓次、

7 ; 苅込和男、8 ; 船木政明・山内悟、

11 ; 宇野正信、14 ; 田中章二、15 ; 山崎信恵、

16 ; 北村弘文・寺元良人・錦井利臣・

錦井房美、19 ; 巻島久・松本俊一、  
20 ; 慶田盛定・高橋博美、31 ; 井本吉彦・  
金野東・長澤郁子、34 ; 西川大輔、  
39 ; 青木佳彦・葛西伸昭、40 ; 斎藤寛

以上 27 名

御祝儀) 顧; 勢能一男

報告) “新世紀みやぎ国体” 懇親会

遠く宮城の地までおいで頂きありがとうございます。数十年ぶりに懐かしいお顔を拝見し、短い時間ではありましたが、昔話しに花が咲きとても楽しい時間を過ごす事ができました。

つきましては、御祝儀なども有り、残金 15,000 円ができました。幹事一同同意のうえ、桜樹会運営費に使って頂きたく桜樹会口座に、振込み致します。

事務局ごくろうさまです、先生にもよろしくお伝え下さい。

(18 回卒 ; 松田 洋・松田 加津子 記)

## 全日本懇親会

日時) 平成 13 年 11 月 23 日

会場) 高知 ; グレース浜すし

会費) 男性 ; 7,000 円、女性 ; 5,000 円

幹事) 8 ; 山崎智次

参加) 4 ; 早田卓次、8 ; 山崎智次、

13 ; 徳永富夫、15 ; 山崎信恵、17 ; 梶山広司、

21 ; 平田倫敏、25 ; 遠藤幸一、27 ; 島田利夫、

31 ; 長澤郁子、33 ; 三富洋昭、34 ; 西川大輔、

37 ; 葛城雅恵、40 ; 斎藤寛、42 ; 高橋勇騎

以上 14 名

## 有志新年会

日時) 平成 14 年 1 月 26 日 (土)

場所) 新宿「栄寿司二号店」

会費) 6,000 円

幹事) 31 ; 長澤郁子、34 ; 西川大輔

参加) 1 ; 石井征也、2 ; 芳尾明・吉川晃、

4 ; 早田卓次、5 ; 小松武雄、6 ; 鶴見興人、

7 ; 岩澤稔、10 ; 安藤泰行・門脇隆・

鈴木康夫、11 ; 大原健司・工藤昌二・

網島路正・原弘吉・三木和一郎・

山本好隆、13;塚田和茂、14;久保光正、  
17;梶山廣司、31;長澤郁子、  
34;西川大輔、35;宮根豊、36;関根功、  
38;後藤靖治、41;門脇年宏

以上 25 名

報告) 2002 年は、冬季オリンピック、FIFA ワールドカップとスポーツ界の盛り上がりが予想される中、1 月も終盤となります 1 月 26 日 (土) 18:00 より有志新年会が行われました。

今年は例年のようなはがきでの通知を行わなかったため私自身も気にかかっていた。周囲からも「今年の新年会は…?」という声がちらほら聞こえるようになり、このイベントの開催が現実未を帯びてきました。

しかし、例年幹事役を引き受けていただいている、34 回卒の君嶋君も現総務の遠藤さんも欠席とのこと。会場予約、会員への連絡や参加者名簿の作成など当日までの段取りは整えていただきましたが、「後は、長澤と西川に任すから…」と何とも心細いお言葉。幹事の大役を任せられることになりました。

かくして頼りない二人の幹事で新年会は開催されました。当日の飛び入りやキャンセルもありましたが、参加者は 25 名。女性の参加は 1 名でした。

以前までの記憶を頼りに、石井会長からご挨拶をいただき、乾杯とすすみ歓談へ…。久しぶりの対面となった方々もあり、大変盛り上がりました。また、卒業間もない会員も積極的に席を移動して、近況報告や諸先輩方の貴重な話に聞き入っていました。

通常ですとこのあたりで自己紹介や近況報告が行われるのですが、幹事の二人もそれぞれのグループで時を忘れて話し込んでしまい気づいたときには、それぞれ報告が終わっていたようです。

開会からあつという間に予定の 2 時間を過ぎ 3 時間がたっていました。その後は、2 次会へ繰り出すグループ、別れを惜しみながら帰路へつくグループと夜の街へと別れていきました。

今回は、女性の参加が少なく、私のがんばりもむなしく(?) 少々華やかさにかけての新年会であったかもしれません。また、このような機会があれば、女性の方や同期生にも声をかけて、この楽しい・懐かしい雰囲気味わっていただきたいと思います。

最後になりましたが、手際の悪い幹事の進行にも関わらずご協力いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。

(31 回卒 ; 長澤 郁子 記)

各懇親会の幹事の方は、公私共にご多忙とは存じますが、①日時、②会場、③会費、④幹事および⑤参加者などの詳細を事務局まで文書 (または FAX 等) にてご連絡お願いします。また、その懇親会の報告 (原稿) なども併せて送付 (または送信) していただければ幸いです。なお、誠に恐縮とは存じますが、各懇親会の幹事についてはその地域の OB・OG の方々でお願い申し上げます。



東北支部懇親会

# 平成 13 年度 日本大学桜樹会 第 1 回役員会議事

平成 13 年 7 月 15 日 (日) 13:00~15:00

新宿; ルノアール

出席) 石井、早田、海谷、林、菅野、遠藤、 以上 6 名

## I 報告事項

1. 第 1 回役員会日程変更の件について
  - ・平成 13 年 4 月 21 日 (土) →平成 13 年 7 月 15 日 (日) に変更
2. 平成 12 年度総会報告
  - 残金→平成 13 年度本会会計へ ¥ 22,600-
3. 会報第 35 号・2001 会員名簿について
  - ・印刷代 ¥538,125-
  - ・平成 13 年 5 月 26 日付で発送 ¥271,090-
4. 競技会報告
  - 1) 東アジア代表選考会 (町田; 2001/4/15)  
代表; 岩井則賢 (36 回卒; 大翔会体操クラブ)
  - 2) 東アジア (大阪; 5/20-23) 岩井: 団体 2 位、つり輪優勝
  - 3) 東日本学生選手権大会 (町田; 6/1~2)
    - ・男子団体 3 位
    - ・女子団体 4 位
  - 4) NHK 杯・世界選手権・ユニバー代表選考会 (佐世保; 6/23~24)  
代表; 岩井則賢 (36 回卒; 大翔会体操クラブ)

## II 審議事項

1. 日本大学体操部への補助費について; 従来…¥200,000-
2. 平成 13 年度全日本社会人大会 (兵庫) の参加補助金 (事業費より出金);  
現在大会参加希望者男子 1 名のみ。担当者 (西川) に呼びかけを依頼。韓国などが社会人大会 2 部の盛り上がりに興味を示しており、将来的に合同開催や韓国での大会開催など企画が上がる可能性あり。そのためにも桜樹会会員の積極的な参加が望まれる。

3. 世界選手権本会関係者壮行会について

<対象者>

男子監督: 梶山広司 (17 回卒)、男子選手…岩井則賢 (36 回卒)、  
男子コーチ…森泉貴博 (34 回卒)、審判…遠藤幸一 (25 回卒)

期日: 平成 13 年 9 月 8 日 (土) 18:00~ 場所: 兵庫県に依頼し、社会人大会桜樹会懇親会と合わせて開催してはどうか? 企画立案へ。

## 平成13年度 日本大学桜樹会 第2回役員会議事

平成14年2月16日(土) 15:00~16:30 新宿;ルノアール  
出席予定)石井、早乙女、早田、木村、小松、小栗、遠藤、以上7名

### I 審議事項

【濱田顧問米寿を祝う会企画原案作成】

- 濱田靖一先生米寿を祝う会
- 実施日時：平成14年4月27日(土)午後5時受付開始、5時半開宴
- 実施場所：新宿=センチュリーハイアット
- 案内対象：日本大学桜樹会、日本大学および附属高校体育教員、大学院関連、  
同窓会有志、濱田先生クラス担任

### —予算案について

- (1) 収入に関しては、祝賀会参加者の会費で行う(1案：1万5千円)。□ 記念品代として遠方で参加できない方に対してご祝儀を募ることはせず、祝賀会参加者の会費でまかなうようにする。なお、当日の事務処理負担を軽減するために銀行口座などを作って会費前払いも考えたが、いくつか問題があるので各担当者で決めてもらう。また、参加者は全対象を含めて150人を目標とした。ただ、桜樹会以外の関係者もいるので、おおよその参加者数見積りをする必要がある。
- (2) 支出に関しては、祝賀会案内の印刷、郵送料、宴会費、濱田先生お車代、看板作成、参加者全員に対する参加記念品、祝賀会のプログラムによってなにかイベント準備など収入を考慮して調整する。また、すべて収入と支出を同額とし、赤字や黒字が出ないようにする。  
参加者数の見積りがとれれば、祝賀会での内容も企画が立てやすいので、まずは案内対象の各担当者に確認作業に取り掛かってもらう。

### —各担当者-案->早田先生がすでに電話連絡済み

世話人：早田卓次、吉本俊明、川井昂、石井征也(桜樹会)、春山文子(同窓会)、近藤正勝(大学教員)・小俣里知子(大学教員：未確認)、小栗郁郎(附属高校教員)、佐藤文宏(大学院)、石川敏広(クラス担任)、石津正雄(大学院・クラス担任)

事務関係：遠藤幸一(桜樹会)、高橋正則(同窓会)

### —今後の打合せ

3月初旬までに、合同の案内状発送準備打合せ

3月15日(金)ころ、案内状発送

4月15日(月)出欠受付締切

4月20日(土)人数最終確認(合同)、式次第の決定(祝辞、乾杯、余興?)

4月27日(土)当日打合せ(役割分担ほか)、祝賀会



## 平成 13 年度 日本大学櫻樹会 第 3 回役員会議事

平成 14 年 3 月 24 日 (日) 15:00~17:00

日本大学文理学部第 2 体育館 3 階体操場

出席) 石井征也、早田卓次、木村多喜、小松武雄、小栗郁郎、岡本公子、海谷美代子、菅野多賀子、遠藤幸一、長澤郁子  
以上 10 名

### I 会計監査作業

### II 報告事項

#### 1. 競技会報告

1) 世界選手権 (ゲント; 派遣中止)

2) 全日本社会人選手権大会 (尼崎; 2001/9/7~9); 「日大櫻樹クラブ」 5 名派遣

・ 2 部男子団体総合; 1 位

・ 2 部男子個人総合; 吉田義経 (37 回卒) … 1 位、門脇年宏 (41 回卒) … 2 位、  
島田利夫 (27 回卒) … 6 位、辛島稔宜 (41 回卒) … 19 位、  
君嶋孝之 (34 回卒) … 24 位

3) 国民体育大会 (仙台; 2001/10/13~18)

4) 全日本選手権大会 (高知; 2001/11/23~25)

・ 男子団体総合; 日本大学… 団体 5 位

5) 関東学生新人・交流選手権大会 (善行; 2001/10/27~28)

#### 2. 各懇親会報告

1) 有志忘年会; 平成 13 年 12 月 8 日 (土) ~ 9 日 (日) …;

2) 有志新年会; 平成 14 年 1 月 26 日 (土) 18:00~… 新宿; 栄寿司二商店

参加; 会員 25 名 (男性; 24 名、女性; 1 名)

3) 日本大学体操部送別会; 平成 13 年 2 月 8 日 (金) 新宿; サンルート東京

4) 世界選手権壮行会 (レストランパレス大阪; 2001/9/8)

#### 3. その他

1) 日本大学体操部補助について… 従来どおり対応 (¥200,000-)

2) 社会人 (尼崎) 大会について

・ 参加補助金; ¥200,000-… 5 名 (男子 2 部のみ)

3) 新入会員について… 12 名予定; 男性 8 名、女性 4 名

4) 会報第 36 号について… 編集中

5) 浜田先生米寿を祝う会 (別紙)

### III 審議事項

#### 1. 平成 13 年度総会 (議事録) 打合せ

委任状 251 通 (現住所不明 5 通); 通知 681=3/24 現在: 返信率 39.8%

「挨拶」… 会長 石井 征也

「議長・書記選出」議長；早乙女貞夫（3回卒）に依頼・書記については当日調整。

「報告事項」

1. 事業および行事報告…日本大学桜樹会・体操部関係；事務局（資料参照）  
※競技会成績、懇親会報告および役員会報告等の詳細については会報第36号に記載予定。
2. 新入会員報告…男性会員8名、女性会員4名手続き済み
3. その他（濱田先生米寿を祝う会4/27、会員の逝去：11回卒「山田寿美」）

「審議事項」

1. 平成13年度収支決算報告…事務局

前年度繰越金(1,115,129円)を含み、収入2,659,455円、支出1,480,875円、繰越金は1,178,580円であった。繰越金を除いた収支差額がプラス63,451円であったので、平成13年度は黒字となった。この理由として考えられるのは、会費収入の増額にある。会費収入は、平成12年度「1,174,000円：171名分」であったのに対し、平成13年度は「1,330,495円：198名分」であった。ただし、総会員数789名、うち会費納入の必要な会員数675名に対して考えると会費納入率は29.3%であり、十分な数字と言えない。また事業費支出に関しては予算より511,436円低く抑えられたが、これは、総会懇親会の会場を日大文理のカフェテリア「チェリー」にし、特に他の事業と重ねなかったことから、開催準備にかかる費用がなかったことが大きな理由である。ただし、通信費に関しては、会報と名簿の送料分の支出が予想以上にかかり、130,300円ほど見込みより支出増となった。

※会計監査により1部修正箇所があり、修正したものを総会に提出

2. 会計監査報告…菅野多賀子（10回卒）  
※総会時に修正された収支決算に確認印を押す。
3. 上記平成13年度収支決算で提案する。
4. 平成14年度事業および行事計画

2002年4月27日に新宿にて濱田顧問米寿祝賀会を桜樹会主催で開催準備を進めている。2003年5月で桜樹会創立40周年を迎えるに当たり、その検討を進めていきたい。なお、平成14年度は会報のみの発行。また、国際大会としてはアジア大会、世界選手権があるので、状況によって壮行会の開催を検討したい。

最近では忘年会も新年会も（有志）という言葉をつけて、事業計画に掲載しているものの、桜樹会の会計支出がないことを示すようにしている。どうしても中央の方が人数も多く、地方在住の会員に関しては、中央に出てくるために時間や交通費などの出費も大きくなる。この点で不公平感を持っている会員も存在する。すべてを解消する得策を見つけることは難しいが、今年度実施した東北ブロックでの桜樹懇親会に会長が足を運ぶといったような事業により、ブロック組織の活性化について継続的に検討していく必要があるのではないかと。

とりあえず、平成14年度に関しては、例年通りの事業展開を行う。ブロックでの

事業や40周年事業など、新しい事業への取り組みについては継続審議としたい。

5. 上記平成14年度事業および行事計画で提案する。

6. 平成14年度予算案

前述したように、40周年記念事業として何か実施するか検討を進める上で、会議費を増額した。事業費に関しては、社会人大会が福岡ということで、その補助金を増額した。なお、名簿を発刊しないため、それぞれ総合的に見て200,000円予算を削減した。

7. 上記平成14年度予算案で提案する。

2. その他

・総会終了後の会員懇親会について

下記理由により、懇親会の規模を縮小して実施（会費5千円⇒2千円）

- 午後6時から同場所にて大規模な懇親会が予定されている。
- 懇親会の開催予定が午後2時半～3時と比較的早い時間帯である。
- 参加人数が少ない。

## 会費納入のお願いと住所シールの見方～会費未納の方へ～

日本大学桜樹会の収入のほとんどが会費によるものです。ご多忙とは存じますが、お手すきの時にご入金いただきますようご依頼申し上げます。なお、お振込の際には、必ず振込用紙の各欄に詳細をはっきりとご記入下さるようお願い申し上げます。

<住所シールの見方>

(34-06) 君嶋孝之様

→個人コード番号(体操部34回卒)

2001年度分まで納入済：00/12/13付入金

→2001年度分までが、2000年12月13日付で入金されています。

## 平成14年度分の会費について

正会員の年会費については、卒業後20年以上の場合は6,000円、同10年以上20年未満の場合は4,000円、同10年未満の場合は2,000円となっています。よって平成14年度分の会費は次のようになります。

1～23回卒；6,000円

24～33回卒；4,000円

34～43回卒；2,000円

**【郵便振替口座番号】 00140-5-111495 日本大学桜樹会**

2001年度 会費納入状況 198名 総額 1,330,495円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
1	4	1	石丸 悠佳	2,000	44	6	1	金子 正史	6,000
2	4	1	井野 里奈	2,000	45	6	1	船木 政明	6,000
3	4	1	加藤 芳隆	2,000	46	6	1	高波 司雄	6,000
4	4	1	近藤 義和	2,000	47	6	1	松本 恭子	6,000
5	4	1	下間 淳	2,000	48	6	1	工藤 昌二	6,000
6	4	1	鈴木 和司	2,000	49	6	1	天童 毅	4,000
7	4	1	関根 彩	2,000	50	6	1	武田かおり	16,000
8	4	1	高橋 勇騎	2,000	51	6	1	高井 一成	4,000
9	4	1	濱崎 誠	2,000	52	6	1	林 秀樹	2,000
10	4	1	原 伊都香	2,000	53	6	1	門脇 年宏	2,000
11	4	1	吉岡 彩子	2,000	54	6	2	佐藤 勲	12,000
12	4	1	三鍋ますみ	4,000	55	6	2	高橋 正典	6,000
13	4	1	坪井しのぶ	6,000	56	6	2	徳永 富夫	6,000
14	4	1	西川 大輔	2,000	57	6	2	五十嵐久人	6,000
15	4	18	宇野 正信	12,000	58	6	2	伊藤 鈴夫	4,000
16	4	19	土持 修子	4,000	59	6	2	川畑 龍雄	8,000
17	4	23	外山 宜男	12,000	60	6	3	堀田 淳二	24,000
18	5	2	平川 文雄	6,000	61	6	3	櫛谷 宗敬	12,000
19	5	21	錦井 利臣	6,000	62	6	3	宮川 直人	14,000
20	5	23	志賀 正昌	6,000	63	6	3	小塚 和子	4,000
21	5	30	岡本 公子	6,000	64	6	3	助信 昌俊	4,000
22	5	31	春山 文子	6,000	65	6	3	森泉 貴博	2,000
23	5	31	菊地 君男	6,000	66	6	3	藤原 聡	2,000
24	5	31	岩田 惇	6,000	67	6	3	今木 重光	2,000
25	5	31	赤井 和子	6,000	68	6	3	栗山 香織	4,000
26	5	31	安藤 泰行	12,000	69	6	4	藤原 和子	6,000
27	5	31	山田 寿美	6,000	70	6	6	井上 博	11,495
28	5	31	山本 好隆	12,000	71	6	6	網島 路正	6,000
29	5	31	中谷 秀明	6,000	72	6	6	田中 章二	6,000
30	5	31	藤田 力雄	12,000	73	6	6	渡辺美弥子	6,000
31	5	31	佐藤 久恵	6,000	74	6	6	川久保祐司	4,000
32	5	31	境 保則	6,000	75	6	6	檜 一幸	4,000
33	5	31	松本 俊一	6,000	76	6	6	古川 堅	4,000
34	5	31	本池 浩次	6,000	77	6	6	喜多川和也	8,000
35	5	31	早瀬 幸博	4,000	78	6	7	田野 哲	6,000
36	5	31	高橋 千春	4,000	79	6	7	小柴 守夫	6,000
37	5	31	大塚 宏	4,000	80	6	7	松下 悦子	6,000
38	5	31	大坂 知恵	4,000	81	6	7	山本 俊子	12,000
39	5	31	中根 均	4,000	82	6	7	山脇 恭二	8,000
40	5	31	水島 宏一	4,000	83	6	7	森元 潤一	12,000
41	5	31	田村 真	12,000	84	6	7	西 繁美	4,000
42	5	31	宮崎真由美	4,000	85	6	7	中山 孝之	4,000
43	5	31	染谷 忠勝	4,000	86	6	7	富高 千恵	2,000

2001 年度

会費納入状況

198 名

総額

1,330,495 円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
87	6	7	山田 銀一	2,000	130	7	12	竹村 里香	4,000
88	6	8	伊藤 勇	6,000	131	7	13	田中 康義	12,000
89	6	8	青木 文次	6,000	132	7	13	島田 利夫	4,000
90	6	8	山下 敦	6,000	133	7	14	金子 洋平	6,000
91	6	9	近藤 明	6,000	134	7	16	畠山 繁博	12,000
92	6	11	吉村 博	12,000	135	7	19	大塚 文夫	6,000
93	6	11	青木 昭文	6,000	136	7	19	菅野 秀俊	6,000
94	6	11	塚越美和子	6,000	137	7	20	広川 優子	20,000
95	6	11	柳沢 聖子	2,000	138	7	20	井本 吉彦	8,000
96	6	13	中村 幸子	10,000	139	7	21	相原 和明	6,000
97	6	14	朝倉 康雄	12,000	140	7	26	森山 理	6,000
98	6	14	大里 武光	4,000	141	7	27	平田 倫敏	6,000
99	6	14	桜井 一男	4,000	142	7	28	田嶋しのぶ	4,000
100	6	15	林 弘策	4,000	143	7	28	田沢 千晶	4,000
101	6	16	大野 裕二	4,000	144	7	30	真島 孝禮	6,000
102	6	18	和田 勝	6,000	145	7	30	山内 悟	6,000
103	6	18	大塚 政子	2,000	146	8	2	豊田麻規子	2,000
104	6	21	小栗 郁郎	6,000	147	8	3	菅野多賀子	6,000
105	6	21	岩沢 稔	6,000	148	8	3	巻島 久	6,000
106	6	21	正木 恭子	6,000	149	8	3	三富 洋昭	4,000
107	6	23	梶山 広司	6,000	150	8	4	平井 良幸	4,000
108	6	23	伊藤 訓子	2,000	151	8	4	山下 大介	8,000
109	6	23	浜崎 誠	2,000	152	8	6	椎名 昇	6,000
110	6	24	成瀬 功	4,000	153	8	8	渡辺 嘉三	36,000
111	6	24	大江 晴久	2,000	154	8	8	加藤 真理	6,000
112	6	25	松山もと子	12,000	155	8	11	平田 芳和	6,000
113	6	25	佐々木真紀	2,000	156	8	16	今西 悦子	6,000
114	6	27	矢木 幹男	12,000	157	8	18	朝倉 徳雄	6,000
115	6	28	小笠原光子	6,000	158	8	19	早田 卓次	6,000
116	6	28	足立 鈴子	12,000	159	8	19	小坂井一弘	4,000
117	6	28	川崎 聖子	2,000	160	8	19	青木 香乃	2,000
118	6	30	斉藤 敬一	6,000	161	8	20	伊東 恭一	6,000
119	7	2	安里 順一	4,000	162	8	20	清水 智子	8,000
120	7	2	佐藤 寿治	4,000	163	8	25	原 弘吉	5,000
121	7	4	村山 孝之	6,000	164	8	29	寛山 秀成	6,000
122	7	5	千野 良一	6,000	165	8	29	八木 宏克	4,000
123	7	5	小野田博之	4,000	166	8	30	岡本みどり	18,000
124	7	5	遠藤 慶	6,000	167	8	31	五十嵐久人	6,000
125	7	6	海谷美代子	6,000	168	8	31	橋本 和雄	2,000
126	7	6	後藤 靖治	4,000	169	9	1	保坂 弘一	36,000
127	7	11	飯塚美也子	2,000	170	9	1	小貫 孝春	12,000
128	7	11	岸本 拓也	2,000	171	9	1	国井 信行	6,000
129	7	12	梶 信昭	12,000	172	9	2	佐伯佳奈子	8,000

2001年度 会費納入状況 198名 総額 1,330,495円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
173	9	2	田中 栄一	2,000					
174	9	3	柏谷 錦一	4,000					
175	9	7	坂田 安世	8,000					
176	9	8	尾崎喜代美	4,000					
177	9	22	町田 知己	2,000					
178	10	3	橋口 泰武	12,000					
179	10	4	岩井 高志	6,000					
180	10	19	黒澤 誠	2,000					
181	10	26	木村 邦博	12,000					
182	11	10	鈴木 一弘	8,000					
183	12	13	吾妻 晶子	4,000					
184	12	14	君嶋 孝之	2,000					
185	12	20	門脇 隆	6,000					
186	12	20	加藤 敦子	10,000					
187	12	28	津村 二郎	6,000					
188	14.1	11	梅崎 捷也	24,000					
189	1	18	水島 克己	6,000					
190	2	14	高見 等	6,000					
191	2	21	森田 博	30,000					
192	2	21	佐古 直美	10,000					
193	2	22	田島 清貴	6,000					
194	2	28	松田 洋	6,000					
195	3	11	松永 政行	14,000					
196	3	15	山本 一晴	12,000					
197	3	16	殿垣 哲也	30,000					
198	3	19	遠藤 幸一	8,000					

この辺で俺は黙る  
 さておしい、抜用券の手順に付いて考えてみ  
 たいと思ふ。  
 先づ考えたい事は①一ツのまじり  
 運動として同一運動の回数と、②二回三回と  
 別とは一回で終つていゝを、③二回三回と  
 ぶやすことである。鉄蹄の車輪からの首返り  
 も二回宙から三回に替つてゐる。ひねりも含んでゐる  
 ②逆に行つてみる。例へば順足のキタリを逆  
 へで行ふ。逆の順序、逆の方向は行つてみる。  
 ③果つて機械の技を移行させる。例へば平行  
 棒で車輪を行ふ。平行棒で鞍馬の旋廻、鞍馬で  
 の旋廻、倒立下り等。④抜の複雑なコンビネ  
 ーション。例へば跳馬の助走に側転バック(倒転を  
 転向)を入れる。鉄蹄のデスロから片腕車輪に移る  
 そのほかいろいろあると思ふ。⑤失敗技が  
 新し技を生む機会に付くか、あるか、あると思  
 う。それについて述べて見たい。所謂「失敗  
 は成功の母」的思考である。  
 大分古い話になるが、東京オリムピアン(花行四  
 郎)先生の時のソ連リクルトゥラコデアイトフ(前振り  
 男子平行棒)の

2001 年度 日本大学桜樹会収支決算書

2001 年 4 月 1 日 ~

2002 年 3 月 31 日

(収支決算書)

会計監査

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収入総額	2,350,000	2,659,455	309,455
支出総額	2,350,000	1,480,875	869,125
差引(次年度繰越金)		1,178,580	

小松武雄  
菅野多留子

(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	1,115,129	1,115,129	0	
会 費	1,200,000	1,330,495	130,495	198 名分
寄 付	0	0	0	
雑収入	34,871	213,831	178,960	利息(普通・定額)、懇親会残金
合 計	2,350,000	2,659,455	309,455	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事業費	1,300,000	788,564	511,436	会報第35号・名簿発行;538,125 競技会参加補助;200,000 総会開催準備;0
補助費	300,000	200,000	100,000	体操部補助200,000
会議費	40,000	19,703	20,297	会議室使用料(総会、役員会)
通信費	300,000	430,300	▲ 130,300	会報・名簿郵送料
事務費	50,000	14,763	35,237	原稿用紙、印刷用具購入他
雑 費	30,000	25,235	4,765	口座手数料他
予備費	330,000	2,310	327,690	壮行会準備金
合 計	2,350,000	1,480,875	869,125	

(特別積立金)

記念事業費	500,000
-------	---------

## 平成13年度 日本大学桜樹会総会議事

平成14年3月30日(土) 13:00~14:30 日大文理「カフェテリアチェリー」

出席者) 1; 石井征也、3; 早乙女貞夫、4; 小俣里知子・菊地君男・木村多喜・早田卓次、5; 小松武雄、山中勝男、7; 海谷美代子、9; 朝倉徳雄、10; 高波司雄、菅野多賀子、12; 相原和明、25; 遠藤幸一、28; 吾妻晶子、小松敦子、31; 長澤郁子、34; 西川大輔 以上18名

委任状256通(現住所不明5通); 通知681( '02/03/31現在返信率40.4%)

I 挨拶…会長 石井 征也

II 議長・議事録署名人選出

議長; 早乙女貞夫(3回卒) 議事録署名人; 木村多喜(4回卒)

### III 報告事項

1. 事業業および行事報告<桜樹会関係=遠藤幸一(総務)、体操部関係=西川大輔(体操部男子コーチ)、長澤郁子(体操部女子コーチ)>(ページ参照)

2. 新入会員報告<遠藤幸一(総務)>男子8名、女子4名(ページ参照)

3. その他

\* 濱田先生米寿を祝う会=平成14年4月27日に桜樹会主催で企画。参加者150名を目標にしているため、呼びかけをお願いしたい。

\* 会員の逝去=山田寿美(11回卒); 平成13年11月27日逝去(肝臓ガン)

\* 女子コーチの交代(木村多喜(4回卒)⇒長澤郁子(31回卒))

・木村先生のこれまでの功績からみて体操部から一切の名前がなくなるのはおかしいのではないかと(菅野) ・体操部内の決定として受け止めてもらいたい(早田)。

### IV 審議事項

1. 平成13年度収支決算報告<遠藤幸一(総務)>(ページ参照)

前年度繰越金(1,115,129円)を含み、収入2,659,455円、支出1,480,875円、繰越金は1,78,580円であった。繰越金を除いた収支差額がプラス63,451円であったので、平成13年度は黒字となった。この理由として考えられるのは、会費収入の増額にある。会費収入は、平成12年度「1,174,000円:171名分」であったのに対し、平成13年度は「1,330,495円:198名分」であった。ただし、総会員数789名、うち会費納入の必要な会員数675名に対して考えると会費納入率は29.3%であり、十分な数字と言えない。また事業費支出に関しては予算より511,436円低く抑えられたが、これは、総会懇親会の会場を日大文理のカフェテリア「チェリー」にし、特に他の事業と重ねなかったことから、開催準備にかかる費用がなかったことが大きな理由である。ただし、通信費に関しては、会報と名簿の送料分の支出が予想以上にかかり、130,300円ほど見込みより支出増となった。

2. 会計監査報告<菅野多賀子(10回卒)>

3. 平成13年度収支決算の認否…承認



4. 平成14年度事業および行事計画<遠藤幸一(総務)>(ページ参照)

資料のとおり、大会の応援・懇親会、会報36号の発行など例年と同じように行う。ただし、平成15年5月で桜樹会創立40周年となるため、会報37号を40周年記念号とする以外に事業を行うかどうかの検討委員会を立ち上げたい。

・門脇顧問より、小室等氏作詞作曲した「体操部の歌」の歌詞を額などに入れて体操場に飾ることはできないか、また、歴代オリンピック選手の名を体育館に形として残すことはできないか等の要望があった。これらのことを40周年記念事業として実施できないか?(石井) 体育館自体を大掛かりに手を加えることは困難である。また監督と議論する必要がある。準備室に飾る程度であれば問題ないであろう。(早田)

40周年記念事業実施の方向で検討していくことについて…承認

今後、役員会で事業の内容を含めて検討する。

5. 平成14年度事業および行事計画の認否…承認

6. 平成14年度予算案…事務局<遠藤幸一(総務)>(ページ参照)

前述したように、40周年記念事業として何か実施するか検討を進める上で、会議費を増額した。事業費に関しては、社会人大会が福岡ということで、その補助金を増額した。なお、名簿を発刊しないため、それぞれ総合的に見て200,000円予算を削減した。

・記念事業費として積み立てであるお金を今回の40周年記念事業で利用するつもりか?(菊地) 現段階では積み立てを崩すつもりはないが、検討委員会に委ねたい(総務)

・総会準備費は予備費として扱ったほうがいいのか?(菊地) 検討していきたい(総務)

7. 平成14年度予算案の認否…承認

8. その他

報告といえるかもしれないが、会員の家族の逝去など、桜樹会として弔電を打つ対応については、リクエストに応じて実施している。ただし、事務局が全てを把握することはできないので、桜樹会としての対応が必要な場合、事務局へ連絡して欲しい(石井)。

以上

議事録署名人 木村多喜

◆総会終了後、同所にて会員懇親会を開催(会費2千円) 14:30~16:00

出席者) 顧問) 遠藤幸雄、1; 石井征也、3; 早乙女貞夫、4; 小俣里知子・菊地君男・早田卓次、5; 小松武雄・山中勝男、7; 海谷美代子・岩沢稔、9; 朝倉徳雄、10; 高波司雄、菅野多賀子、12; 相原和明、19; 塚越美和子、25; 遠藤幸一、31; 長澤郁子、32; 山田美穂、34; 西川大輔

以上19名

なお、懇親会残金1,200円は桜樹会へ寄贈。

懇親会終了後、100周年記念講堂・体育館を見学し、「たつみ」へ

# 平成14年度 役員一覧

<会 長> 1;石井 征也

<副 会 長> 3;早乙女貞夫、4;小俣里知子・高田 信興

<会計監査> 5;小松 武雄、10;菅野多賀子

<総 務> 25;遠藤 幸一、34;君嶋 孝之

<役 員> 22名

2;平川 文雄・堀田 淳二・吉川 晃	17;梶山 広司
4;菊地 君男・木村 多喜・早田 卓次	19;金居 俊郎
5;小栗 郁郎	20;渡辺 嘉三
6;鶴見 興人	21;平田 倫敏
7;岡本 公子・海谷美代子	29;水島 宏一
9;朝倉 徳雄・林 昌幸	31;長澤 郁子
10;近藤 明	34;西川 大輔
11;原 弘吉	43;葛西 玲広
14;外山 宣男	

<ブロック役員> 15名

北 海 道	… 5;中島 元
東 北	… 7;佐藤 勲、11;宇野 正信
北 信 越	… 8;船木 政明、14;五十嵐久人、15;住廣 晃
東 海	… 20;慶田盛 定
近 畿	… 8;小柴 守夫、11;山田 隆士
中 国	… 13;中谷 秀明、25;小野田博之
四 国	… 8;山崎 智彦、33;橋本 博之
九州・沖縄	… 5;磯部 忠通、16;錦井 利臣

# 平成 14 年度 事業および行事計画

月	日	事業および行事内容	場 所
4	20 27	第 1 回役員会 濱田顧問米寿を祝う会	日大文理 新宿センチュリーハイアット
5	下旬	会報 36 号発行・発送	
6	17~19	東日本インカレ (応援)	山梨・小瀬スポーツ公園
7	4~7 28~8/1	アジア大会代表決定兼NHK杯 全日本インカレ (応援・懇親会)	東京体育館 鳥取；米子市産業体育館
8	5~7	インターハイ (懇親会)	茨城；県立笠松運動公園
9	6~8	社会人 (選手派遣・応援) 第 2 回役員会	福岡；九州共立大福原記念館
10	1~9 4~6 28~30	アジア大会 関東学生新人・交流 (応援) 国体 (懇親会)	韓国；釜山 神奈川県立体育センター 高知；青少年センター体育館
11	7~10	全日本 (応援・懇親会)	静岡；ツインメッセ静岡
12	7~8	忘年会 (有志)	
1	25	新年会 (有志)	新宿；栄寿司二号店
3	23 29	第 3 回役員会 (会計監査作業) 平成 14 年度総会・懇親会	

※平成 15 年 5 月に迎える日本大学桜樹会創設 40 周年記念事業の検討を含む

新しい技が生まれる瞬間の探索  
濱田清一

体操競技には沢山の技がある。これ等の技は皆先輩に携わつて先輩方が苦勞して肉體に作り込まれた。いわば、先輩の財産である。これ等の技を練習によって修得し、自分のものにすることは後輩として大事なことであり、そして出来れば更に新しい技を用意して体操競技界の財産を豊かすることである。

勿論新しい技が全くない競技会は成立しない。試合を楽しむ事も可能である。しかし、体操競技界に於ける新しい技の誕生は陸上競技界の新しい記録と同じように燃然とかがやき、そして新鮮味と、魅力がある。その陸上競技界の記録と併せて、体操界の新しい技の誕生は質的に違ひ、同日に論ずることは出来まいが、新しい技の起爆剤の力と興味をもつて、新しい技の誕生と肉體と素人的立場から眺めてみる。このように、新しい技の誕生と肉體と素人的立場から眺めてみる。

の持主

## 2002年度 日本大学桜樹会予算案

2002年4月1日～  
2003年3月31日

## (収支決算書)

項目	予算額	01年予算額	01年決算額	予算差額
収入総額	2,400,000	2,350,000	2,659,413	50,000
支出総額	2,400,000	2,350,000	1,480,875	50,000
差引(次年度繰越金)	0			

## (収入明細)

項目	予算額	01年予算額	01年決算額	予算差額	備考
前年度繰越金	1,178,580	1,115,129	1,115,129	63,451	
会費	1,200,000	1,200,000	1,330,495	0	
寄付	0	0	0	0	
雑収入	21,420	34,871	213,831	-13,451	利息
合計	2,400,000	2,350,000	2,659,455	50,000	

## (支出明細)

項目	予算額	01年予算額	01年決算額	予算差額	備考
事業費	1,100,000	1,300,000	788,564	-200,000	会報第36号発行;400,000、 各競技会参加補助;400,000、 総会開催準備;300,000
補助費	300,000	300,000	200,000	0	体操部補助300,000
会議費	80,000	40,000	19,703	40,000	会議室使用料,40周年記念事業準備
通信費	300,000	300,000	430,300	0	会報他郵送料
事務費	50,000	50,000	14,763	0	原稿用紙、印刷用具購入他
雑費	30,000	30,000	25,235	0	口座手数料他
予備費	540,000	330,000	2,310	210,000	
合計	2,400,000	2,350,000	1,480,875	50,000	

平成 14 年度 日本大学桜樹会 新入会員名簿

ID	氏名	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	出身高校
43-01	井上あい子	916-0008	鯖江市入町 3-2-12	0778-52-6280		福井/北陸高
43-02	太田 崇	721-0907	福山市春日町 1-15-43	0849-41-3635		岡山/関西高校
43-03	鏡 尚志	325-0056	黒磯市本町 5-18	0287-62-3494		栃木/作新学院高
43-04	葛西 玲広	333-0853	川口市芝園町 3-4-237	048-262-5387	日本大学文理学部	埼玉/埼玉栄高
43-05	木村 光	640-8434	和歌山市榎原 69	073-455-2879		和歌山/近大附和歌山高
43-06	斎藤みずき	181-0002	三鷹市牟礼 5-5-4	0422-49-1507		東京/藤村女子高
43-07	平 敏樹	180-0011	武蔵野市八幡町 3-7-23	0422-53-2217		茨城/土浦日大高
43-08	錦井 浩樹	862-0924	熊本市帯山 6-7-12	096-384-0779	大泉スワロー体育クラブ	鹿児島/れいめい高
43-09	半藤 京子	330-0022	さいたま市堀崎町 1084-5	048-686-2709		埼玉/埼玉栄高
43-10	古川 哲也	612-8401	京都市伏見区深草下川原町 11	075-641-7860	㈱仙太郎	京都/洛南高
43-11	山崎 紀子	062-0021	札幌市豊平区月寒西一条-71-45			北海道/札幌第一高
43-12	山田 真二	861-2234	上益城郡益城町古閑 29-14	096-369-6209	熊本 YMCA	熊本/熊本学大附高

# 平成 14 年度 体操部行事予定

(日本体操協会行事を含む)

4月1日現在

月	日	行 事	備 考
4	8 30～5/5	入学式 (日本武道館) 保健体育審議会入会式 (日大会館) 環太平洋選手権 (カナダ)	
5	17～19	体操部新入生歓迎会 (砦公園) 東日本インカレ (山梨・小瀬スポーツ公園)	
7	23～24 29～8/1	NHK杯・アジア大会代表決定 (東京体育館) 全日本インカレ (米子)	
8	5～7 12～17 20～22	インターハイ (茨城・笠松運動公園) 全日本ジュニア (横浜) 全国中学校 (大阪)	
9	6～8	社会人 (福岡・九州共立大)	
10	1～9 4～6 28～30	アジア大会 (韓国・釜山) 関東学生新人・交流 (神奈川) 国体 (高知)	
11	7～10	全日本 (ツインメッセ静岡)	
12	7～8	中日カップ名古屋国際 (名古屋) 体操部スポーツ大会 (日大文理)	
2		体操部卒業生送別会	
3	上旬～中旬 25 27～28 26～28	春季合宿 (土浦日大高) 卒業式 (日本武道館) 高校選抜 (徳島) 全国小学生 (茨城・大洗)	

# 平成 14 年度 体操部役員および部員

## 体操部役員

顧問；濱田 靖一、遠藤 幸雄 部長；早田 卓次 副部長；渡辺 馨  
監督；梶山 広司 コーチ；長澤 郁子、西川 大輔

## 体操部員 44 名(男子 30 名、女子 14 名)

4 年；	若松 伸／県立庄内総合高	徳永 哲人／熊本学大附高
古市 正樹／清風高	田崎 裕祐／熊本学大附高	錦井 智子／東海大四高
能勢 龍二／れいめい高	西村 祥／東海大第四高	小野 鮎子／和歌山北高
葛西 望／埼玉栄高	松谷 育英／姫路商業高	
佐藤 祐介／日川高	山北恵理子／藤村女子高	1 年；
野村 俊介／日川高	松本 陽奈／熊本学大附高	山口 悠樹／洛南高
福島 武広／湘工大附高	山本加奈絵／札幌第一高	小田原玄弥／埼玉栄高
宮原 克典／清風高		飯嶋 颯／日大藤沢高
森下 亮／市立兵庫商高	2 年；	城崎 大樹／湘南工大附高
日向小百合／山梨学大附高	塚本 泰裕／清風高	江原 嘉一／市立沼田高
岡崎 恵美／品川女子高	笹村 昌宏／田辺工業高	清水 昭幸／関西高
上川みゆき／夙川学院高	森 光大／清風高	吉田 秀登／長野日大高
利根 彩恵／綾瀬高	石渡 幸一／横浜商大附高	巻島晃一郎／れいめい高
内藤 啓子／習志野高	市川 哲史／長野日大高	村田麻衣子／鶴見女子高
	佐伯 良治／保善高	松永百合江／土浦日大高
3 年；	須藤 大地／日大東北高	和泉 恵／土浦日大高
芳村 裕生／洛南高	田村 元永／日大東北高	田崎 晶子／熊本学大附高

	練習開始時間		
	平日	土曜	休日
男子	16:20～	14:40～	13:00～
女子	16:20～	14:40～	10:30～

上記のような予定になっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

・練習場；日本大学文理学部第 2 体育館 3 階体操場

電話 03-3329-1151 (代表)

平成14年度体操部役員についての御報告

体操部監督 梶山廣司

木村多喜コーチの退任に伴い、平成14年度体操部役員は以下の通りとなりますので、御報告いたします。

- 部長 早田 卓次 日本大学文理学部教授
- 副部長 渡辺 馨 日本大学芸術学部教授
- 監督 梶山 廣司 日本大学生物資源科学部助教授
- コーチ 西川 大輔 日本大学芸術学部専任講師
- コーチ 長澤 郁子 日本大学鶴ヶ丘高校非常勤講師

木村コーチの長年の御労苦に感謝いたします。

桜樹会員の皆様には、今後とも体操部の活動に対する御指導御協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

器械を使った運動をいじめる  
 たとえば昔は極く原始的な時代、木の枝  
 が丸太を横に、物ほし竿のようにならね  
 始銀棒の**腕**は、腕の力がけでよい  
 のぼる。足をかけたら加ふる、なごに三種類の直  
 を授けながら**さう**と思う。その時代に半回転  
 して棒の上にはあがる逆上りをはじめ五人はえ  
 ういものである。おそく仲間からは英確視  
 されることである。やがて**跳上り**が誕生す  
 る。跳上りはいつ頃、誰か南米に**指**が知  
 る。跳上り、これは**初期**の巨峰であり、**花**明会の工  
 ジソンの様々**初期**の存在であると思ふ。→振動を  
 使い、慣性能率と山さ**初期**の速度と大きく  
 してバーの上には棒をみちかくという創画的な  
 技術の革新である。この跳上りが**問**を  
 てから、振動(フリ)を使い運動としての鉄棒の  
 技が大幅に伸展し、弧と**即**車輪の華麗な鉄棒  
 運動の世界がひろがりはじめた。**目**をみちかくの  
 ある。鉄棒運動以外の機械、平行棒、リニア  
 などとも鉄棒運動の技による、**器**をさしたものが  
 が多いのには気がつくうら。

跳上りは



## 若き後輩たちへのメッセージ「勝ちませ日大わ」秘話

28回卒；殿垣 哲也

旧合宿所が取り壊される一年程前に、合宿で泊まる機会があった。思い出のいっぱいだった合宿所がもう無くなるのかと、さびしい気持ちと最後に見届けられてよかったと言う気持ちの複雑な心境だった。ミーティングルームに泊まった訳だが、そこで目にしたのは、年度毎に張ってある「勝ちませ日大わ」の寄せ書きであった。この寄せ書きは今も続いているらしいし、日大のTシャツにも書かれている。

あれは昭和61年、インカレ直前のミーティングルームでの出来事。学生コーチのチョーさんこと藤倉君が大きめのカレンダーだったかポスターの裏を使っておもむろに書き始めた。「勝ちませ日大わ」と。

このフレーズには二つ変なところがある。一つはなぜか「勝ちませ」と関西弁。もう一つは「日大わ」の「わ」が本来文法的には「は」のはずである。

チョーさんは高知高校出身ではあるが生まれは徳島の牟岐。関西弁なのである。

「わ」のほうは意味不明である。うちの小3の息子が「ぼくわ…」と書く単なる文法ミスか、「輪」と掛けたのかはいまだに闇の中である。

前年度のインカレ（大津）では規定で4チームが1点差の中にひしめく激戦ながら、結果的には4位に甘んじていた。そして、61年度は東日本インカレではあん馬で3人が7点台を出しながらも、3点差をつけて優勝。合宿所の食堂でビールかけの祝勝会を行なった。今思うと早田先生によくお許しただけなあとと思う。

インカレ（直江津）では4年生でチームに入ったのは主将の石川君だけで、あとは3年生の水島君、小比類巻君、山本君、2年生の小林君、長谷川君という若いチームであった。

エース水島君を中心にそれぞれが強烈な個

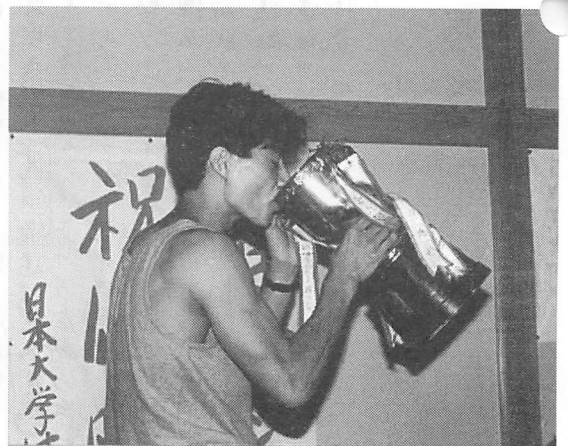
性ある演技で久しぶりのインカレ制覇である。鉄棒最後の演技者の水島君が着地を決めた瞬間の残像は今でも脳裏に焼き付いている。

宿舎での祝勝会ではさすがにビールかけはできなかったものの、優勝カップにビールを注ぎ、みんなで回し飲みしたビールの味はまさに美酒だった。これまで先輩方が何度もインカレを制覇してはいるものの、私たちの4年間にとっては初優勝なのである。

さて、実はこの最初の寄せ書きには、出場選手は誰も書いていないのである。チョーさんをはじめ、努力の甲斐なく選手になれなかった仲間全員が、「俺たちの分まで頑張ってくれよ！」という気持ちを込めたものなのである。一方で選手たちはみんなの代表として、日大の代表として、という気概をもって試合に臨んだのである。

いま、若い後輩たちには「仏作って魂入れず」ではなく、劣勢であろうとなかろうと勝敗の結果は別にして、部員が心を一つに全力で勝利を目指し勝ちにこだわる、その気持ちを「勝ちませ日大わ」に寄せてほしい。

それが私たちの代から始まった寄せ書きの精神でもあるし、それが先輩から受け継がれてきた日大のポリシーだから。



## ワールドゲームズ 2001 秋田大会に参加して

9回卒；今村 悟

皆さんはワールドゲームズという世界大会をご存知でしょうか！？多くの日本人が知らないまま、昨年夏日本で開催されました。

第6回ワールドゲームズ秋田大会は、2001年8月16日から26日まで秋田県で開催されましたが、私はこの大会にボランティアとして参加しました。また 秋田県在住で同期の靱山、吉田両君と久しぶりに再会しましたので報告したいと思います。

国際ワールドゲームズ協会 (IWGA) が主催する国際総合スポーツ大会で、IOC の支援を受け、4年に一度夏季オリンピックの翌年に開催されます。ワールドゲームズもオリンピックと同じように世界最高水準の選手による国際競技会ですが、参加選手は国ではなく各競技の国際連盟 (IF) が許可した代表であり、そして、大会は既存の施設を使用するという二つの大きな特徴があります。オリンピック競技種目以外から選ばれた公式競技 26 と、公開競技 5 に約 3000 人の選手役員参加し、秋田県下 8 市町村 21 会場で開催されました。

第1回大会は1981年アメリカのサンタクララで19競技、第2回大会は1985年イギリスのロンドンで23競技、第3回大会は1989年ドイツのカールスルーエで19競技、第4回大会は1993年オランダのハーグで25競技、第5回大会はフィンランドのラハティで24競技が開催された歴史が浅い国際大会です。秋田大会は次の26公式競技が行われました。

ビリヤード (Billiards)、ボディビルディング (Body Building)、ブルスポーツ {ペタンクとスポールブル} (Boules Sports)、ボーリング (Bowling)、キャストリング {フライフィッシング正確度、フライフィッシング片手投げ距離、バスフィッシング投げ正確度} (Casting)、ダンススポーツ {スタンダード、ラテン} (Dance Sport)、ファウストボール {5人制のバレーボールの原型} (Faustball)、フ

ィールドアーチェリー (Field Archery)、フィンスイミング {足ヒレとシュノーケルをつけて泳ぐ} (Finswimming)、フライングディスク (Flying Disc)、新体操 (Rhythmic Gymnastics)、スポーツアクロ体操 (Sports Acrobatics)、エアロビクス (Sports Aerobics)、トランポリン (Trampoline)、タンブリング (Tumbling)、柔術、空手、コーフボール {籠の高さ 3.5m に入れあう球技でオランダで生まれた} (Korfball)、

ライフセービング (Life Saving)、オリエンテーリング (Orienteering)、パラシュージング (Parachuting)、パワーリフティング (Powerlifting)、ローラースケートィング (Roller Skating)、ラグビー7人制 (Rugby)、綱引き (Tug of War)、水上スキー (Water Ski)。公開競技は次の5種目です。合気道、ビーチハンドボール (Beach Handball)、ゲートボール、相撲、女子綱引きの種目が行われました。

秋田には今まで行ったことのない県でしたのでわくわくするものがあり、日本海を車で2日かけて京都から北上しました。鳥海山が見えたとき、なんとも雄大な山だと感じて秋田県に入りましたが、ワールドゲームズの看板はなかなか見当たらず、本当に秋田で開催するのかなーというのが実感で少し心配になりました。

私はファウストボールという球技のスイスチーム付通訳で、8月15日から21日まで担当。スイス・ドイツ語は非常に訛りが強く、慣れるまでに少々時間がかかりますが、慣れてしまえば持ち前の遠慮知らずで、どんどんチームに溶け込むことができました。

今ドイツの伝統球技を研究しており、世界的にほとんど知られていない球技をとりあげ、日本に紹介しようという主旨のもと、日本体育学会等で発表させてもらっています。

その一つがファウストボールで、世界で一番古い球技の一つであり、紀元前 240 年古代ローマ皇帝の歴史書にも載っており、1555 年にイタリアで最初の規則ができ、その後ドイツにわたり今日の規則になったスポーツで、現在ドイツ語圏を中心に行われています。ドイツ、オーストリア、スイス、イタリア、デンマーク、チェコ、アルゼンチン、ブラジル、チリ、ウルグアイ、アメリカ、ナミビア、日本の 13 ヶ国が登録していますが、今後ギリシャ、マルタ、メキシコ、スペイン、ウクライナ、ハンガリー、ポーランド、イギリス、スウェデン、ノルウェー、白ロシア、台湾が加盟する準備段階の状態です。ドイツ近隣諸国と、ドイツ系移民の多い南米、ドイツが唯一アフリカに持った植民地ナミビアを中心におこなわれており、ドイツ語が競技公用語です。競技は片面 20m×25m の広さに 5 人が入り、中央は 2m の高さにラインテープで仕切られています。ダイレクトやワンバウンドで受け、セッターがボールを上げ最大 3 回で相手コートに返します。バレーボールの原型といわれる球技で、片手のこぶし (Faust) を使いレシーブやアタックをしますが、コートが非常に広いし、ボールが硬いのでスピードがありとてもハードな競技種目です。今回初めてオーストリアチームが優勝しましたが、ブラジル、ドイツ、スイスが今後どのように巻き返すか注目しています。日本チームは元バレーボール選手を中心にして構成されましたが、バレーボールとはまったく違った球技であること、体力的、スピード、テクニックにおいても大人と子供の試合であった。今回スイスチームからボールを 5 個譲り受けたので、もしこの球技に興味のある方は是非挑戦してみてください。すぐにナショナルチームに入れて海外遠征も夢ではありません。

今回の大会は 5 チームが参加しました。当初アルゼンチンも参加予定だったのですが、財政的な理由で出場を取りやめたため、急遽

変則的な試合を組み、日本チームができるだけ多く試合ができるよう配慮されました。役員は全員ドイツ語が話せる人物ですので、非常に家族的な雰囲気のもと行われました。

このワールドゲームズの競技種目は、将来のオリンピック種目を狙っているもので、世界にアピールするためにも重要な大会です。IOC も全面的にバックアップしていますし、大会には副会長と数人の委員も視察に来ました。開会式は今回始めて総合型の形式をとりました。前回までは各競技ごとに開会式を行っていましたが、この大会の主旨であるお金をかけない、そして、既存の施設を利用するという考えで実施されてきた大会も、段々オリンピックに似てきたように思えます。肥大化したオリンピックを批判して生まれた大会が、なんとも皮肉に思えてなりません。日本人は特にセレモニーを大切するので、開会式では秋田の伝統芸能文化をふんだんに取り入れ、世界にアピールしていました。秋田県では今まで国際大会は皆無といいほど開催されていません。この大会は絶好の機会だったのです。しかし、人々は非常に好意的に大会を支援しており、皆献身的にボランティアとして大会を支えていました。この秋田県人を外国のメディアや役員、選手は今までにない大会と絶賛し、外国の大会ではこんなにボランティアは集まらないし、皆とっても親切で良い思い出となった大会と報告しています。80 歳のおじいちゃん、おばあちゃんから中学生まで幅広いボランティアに支えられて素晴らしい大会となりました。私も多くの秋田の人や外国の役員選手と知り合いになれば、また自分の財産が増えたと確信しています。多くの関西人から、総べて自費のボランティアで秋田まで行く価値があるのとか散々言われましたが、私にとって非常に価値あるボランティアだったと思います。お金では解決できないスポーツの良さを改めて認識した大会だったと思います。

また、同期の靱山、吉田君に会えた懐かしさと、昔を思い出し話が弾みました。特に吉田君とは卒業以来初めての再会でしたので、なんと33年ぶりとなりました。靱山君とは何回か会っていましたが、それでも10年ぶりくらいだと思います。靱山君は皆さんご存知のように秋田では無敵のバレーボールの名門、由利高校監督で全国に名が知れ、秋田に靱山ありと今でも有名監督で、今尚全国を飛び回って練習や試合をしています。元全日本のエ

ースアタッカーで、アイドル並の人氣があったダイエー選手は彼が育てた選手だったので。吉田君は大学時代から非常に真面目で、おとなしい性格だったのですが今では孫ができて非常に嬉しそうでした。相変わらず細く体型が全く変わっていないのにはびっくり。3人で秋田名物を食べながら昔話に花を咲かせ、短い時間でしたが会えて本当に良かったと思います。またの再会を願って筆をおきます。

## 編集後記

久しぶりに会報の編集に携わって感じるのは、投稿原稿のほとんどがワープロで打たれてくるということです。さらに中には電子メールで投稿いただいたり、フロッピーを送っていただいたり、デジタル化は益々進んでいることを実感します。また、総務として数年、私をサポートしてくれた君嶋くん(34回卒)が仕事の都合で実家の栃木に帰ったことで、私に対する仕事の負担増を心配していましたが、手書き原稿の打ち込みなどは彼の協力を得て実施し、ファイルは電子メールで送ってもらうなど、仕事を分担して行いました。今や離れていても仕事を速やかに分業できるなんて、ITさまさまといったところです。

ところが、こう毎日のようにパソコンの前に座り、デジタル化されている文字を見ていると、

妙に手書きの原稿が恋しくなってきます。考えてみれば、こうしたデジタル化社会において、誰もがキーボードを押すと同じ文字(形)となり、その人なりの個性が失われているように感じます。言い換えれば、人の書いた字にはその文字の意味以上に何か心が込められているような気がするのです。

実は、こんな感想を持ったのも、久しぶりに会報の編集をするにあたり、米寿を迎えられる濱田先生の字を見たからです。その内容のユニークさもさることながら、独特な字体は、私を何ともほのぼのとした気持ちにしてくれます。そんな濱田先生の投稿原稿の一部を会報の所々に添え、今回の編集後記を閉じさせていただきます。

(遠藤幸一記)

## 会報への原稿募集について

日本大学桜樹会会員として活躍されている各位の体験談(よかったこと、悪かったこと、成功したこと、失敗したこと、今後の指導に望むことなど)をはじめとして、学生時代の思い出、現在興味を持っていること、近況報告などの原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんのでぜひ投稿していただきたいと思っています。なお、こちらから原稿依頼をさせていただく場合もありますので、もし依頼状が手元に届きましたらお忙しいとは存じますが桜樹会の発展のためにも少しの時間をさいて寄稿していただけるようお願い申し上げます(投稿締切;毎年3月31日)。

投稿先; 日本大学桜樹会事務局

〒157-0061 世田谷区北烏山7-5-12 遠藤 幸一

Fax 番号 03-3305-2984 電子メールアドレス [endok@bus.nihon-u.ac.jp](mailto:endok@bus.nihon-u.ac.jp)

## 郵便物の配達について

住所の変更がなくとも、まれに現住所不明で事務局まで戻ってきってしまう場合があるようですので、日本大学桜樹会関連の郵便物が届かない場合は直接事務局の方までご連絡下さい(文書またはFAX等でお願いいたします)。

### 日本大学桜樹会会報 第36号

---

発行日 平成14年5月2日

発行者 日本大学桜樹会

出版所 日本印刷株式会社

東京都千代田区外神田6-3-3

〒101-0021 電話 03-3833-6971

---